

ホームページだより

令和4年度

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の子カラ～

社会を明るくする運動

社会を明るくする集い

日時：令和4年7月24日(日)
17時30分開始
場所：御影クラブ(大久保地区)

※御影地区の犯罪や非行の防止、被害者の救済、犯罪者の更生を目的として、警察、教育委員会、消防、保健所、福祉センター等が連携して実施する運動です。



パネル展示

「社会を明るくする運動」ポスター・標語
保護司会生活情報センター
大学生協発表会パネル
など展示

月日：令和4年7月24日(日)～
8月5日(金)

場所：御影クラブ4階
（コースアラサ主催の講話会場）



小・中学生作文 コンテスト募集

次世代を担う小・中学生の皆さんに、日常
や学校生活、学校生活の中での犯罪や非行
に対して考え、感じたことを題材とした
作文を募集します。

締切日：
令和4年8月19日
※7月19日(土)まで受付可



大学生等 メッセージ動画 コンテスト募集

犯罪・非行のない地域社会づくりを目指
す行をした人の姿や取り組みなどについて考え、こ
の更生保護ボランティアの方々の悩みのしる
すツールなどを題材とした動画を募集します。

募集期間：令和4年8月15日～8月15日



“社会を明るくする運動”ってなあに？

“社会を明るくする運動”とは、すべての犯罪の根絶、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生につ
て理解を深め、それぞれの立場に即して力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くた
めの全国的な運動です。令和4年で72回目を迎えます。詳しくは、下記までお問い合わせください。

第72回“社会を明るくする運動”東灘区推進委員会(東灘区保護司会)
higashi-nadaku.72shamei@gmail.com

お問い合わせ先：東灘区ホームページ





【お知らせ】

○4月2日 ホームページ作成 この1年を振り返って

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、この一年は昨年と同様、令和3年度総会書面表決で始まり令和4年度総会書面表決の準備で終わりました。その間、昨年中止した学校との連携強化事業、地域別定例研修会は開催できませんでしたが、新年互礼会、社会を明るくする集い、研修旅行などは中止となりました。

この中であって、広報部会では「コロナ禍だからできる」「コロナ後も続ける」の思いで、「学ぶ・考える・語る・拡げる」四つの取り組みをしました。

「学ぶ」は「オンライン自主研修」を8回開講しました。

「考える」は”社会を明るくする運動”をテーマとしたメッセージ動画にチャレンジし、東灘区長・神戸保護観察所長の挨拶をはじめ14件を発信することができました。

「語る」はホームページへの「会員の投稿」をみなさんに呼びかけ、51件の投稿をいただきました。そのうち、中央区の保護司さんからは9件もの投稿がありました。

「拡げる」は、全国保護司連盟に11回投稿しました。また、15秒動画のInstagram reels、youtube shorts で月刊「ホームページだより」を令和4年2月から始めました。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大防止で対面活動には限度がありますが、昨年度同様ICT活動を中心に、新しい企画、運営にチャレンジしますので応援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

○メールマガジン第33号（5月1日）

今年の第72回“社会を明るくする運動”のポスターは「#生きづらさを生きていく。」をメインコピーとして「小さい頃から、私と世界を隔ててきた“生きづらさ”・・・大丈夫。世界は広くて、明るくて、私もいるんだから、きっと大丈夫。」の284文字メッセージを発信したデザインです。ちなみに昨年の第71回ポスターは165文字でした。

ところで、2年前の第70回は、更生保護ボランティアのキャラクター7人の輪の中にメインコピー「広がり、つながる未来の輪。Hand in hand」を。そして、8年前の第64回は、女優波瑠さんでメインコピー「おかえり」を。

振り返れば、第70回から第65回の6回はキャラクターを、第56回から第64回（内2回は除く）の7回は俳優さんの画像をセンターとするデザインでした。

まさに昨年からポスターの大変革！！「ツッパックス」から「テキスト」に、「人目を引く」から「ストーリーを伝える」に、閲覧者との距離は「遠く」から「近く」に、時間は「ちょっと」から「じっくり」に。

さて、いよいよ今年度出発の時です。私たち“社会を明るくする運動”も、「垂れ幕・幟・ポスター」の提示・設置、歌舞音曲の華やかな街頭広報に加えて、犯罪や非行のない安全で安心な暮らしをかなえるため、今何が求められているのか、そして、自分には何ができるのかを、「みなさんとともに考える」場にしたいと思います。

○第72回“社会を明るくする運動”東灘区推進委員会

①社会を明るくする集い

月日 7月上旬

令和2、3年と新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止しましたが、今年はなんとか開催したいと思っております。

②7月下旬～8月上旬 パネル展

月日 7月下旬から8月上旬

○更生保護関係諸団体の活動紹介

○“社会を明るくする運動”広報用ポスター、標語パネル

○垂れ幕、幟

などを展示

③大学生等メッセージ動画コンテスト

④小・中学生作文コンテスト



【情報収集コーナー】

○3月29日 再犯防止4コマ&1ページ漫画大賞受賞作品の決定について



OMO J channel #社明 71 を振り返る



OMO J channel 第72回「社会を明るくする運動」総理大臣メッセージ

第72回「社会を明るくする運動」は、「#生きづらさを生きていく」のキャッチフレーズのもと、犯罪や非行の背景にある様々な”生きづらさ”に思いを致し、再出発を後押しするコミュニティ作りを目指して、多様な発信を行っています。

「社会を明るくする運動」に御注目いただき、御理解と御協力をお願いします。



○4月12日（火）法務大臣閣議後記者会見の概要

第72回「社会を明るくする運動」は、第71回に引き続き、「#（ハッシュタグ）生きづらさを生きていく」のキャッチフレーズのもと、犯罪や非行の背景にある様々な”生きづらさ”に思いを致し、再出発を後押しするコミュニティづくりを目指して、多様な発信を行っています。

今般、岸田内閣総理大臣より、この運動によせてメッセージをいただきました。

内閣総理大臣からは、毎年、「社会を明るくする運動」によせて書面によるメッセージをいただいておりますが、今回は初めて動画によるメッセージをいただきました。

こちらの動画は、本日より、法務省公式YouTubeチャンネル等にて御覧いただけます。

「社会を明るくする運動」に御注目いただき、御理解と御協力をお願いします。

OMOJchannel 無人カメラを置いて矯正職員のホンネ聞いてみました！【矯正局】

刑務所、少年院、少年鑑別所で働く矯正職員（刑務官、法務教官、心理技官）の「ホンネ」をご紹介します！！厳しい表情で働いているイメージが強い矯正職員が、無人カメラの前でちょっと「ホンネ」を語っています。



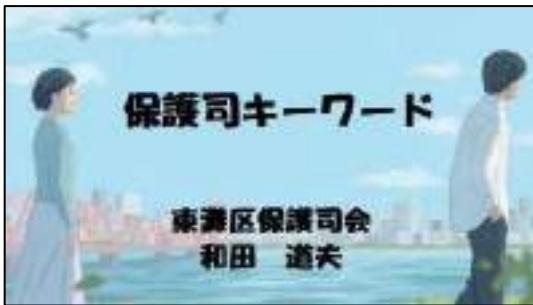
【地域からの頼り】

○4月11日 大森保護司投稿（中央区保護司会）今日は午後からサポサン当番です。書庫の上に鯉のぼり🎌を見つけました。気持ちが少し和らぎました



【会員の投稿（保護司関連の話）】

○4月4日 メッセージ動画その1（和田保護司）



○4月4日 メッセージ動画その2 和田保護司



○4月14日 ツイッター-矯正図書館（和田保護司）



○5月11日 ハートフルシネマサロン



【会員の投稿（東灘に関するもの）】

○令和4年度春季例大祭実施状況 東灘だんじり会

【事業報告】

○本山支部会

日時 4月2日（土）10:00～12:00

場所 東灘区更生保護サポートセンター

出席者 和田、山下、川西、永井、石田、藤田、井上、大西、中瀬保護司

議題

・連絡事項

○令和4年度総会について

- 第72回“社会を明るくする運動”について
- 保護観察経過報告書の作成・提出のICT化の開始について

ICTに関するアンケートの実施

- 令和4年度地域別定例研修について

- ・処遇会議
- ある保護司の対象者処遇について意見交換
- ・その他 情報交換 (和田保護司投稿)



○魚崎支部会

日時 4月2日(土) 18:30~20:20

場所 魚崎西町会館

出席者 清原、石畠、西口、宮田、石岡、高橋、松村、板井、長束保護司

議題

- ①連絡事項
- ②自主研修
「ホームページからの報告書作成」について
- ③令和4年度東灘区保護司会総会について
書面評決となりました
- ④情報交換
連絡網について
- ⑤その他報告 (長束保護司投稿)



○4月6日 ホームページだより 令和3年度 (スライド版)



○4月2日 ホームページだより 令和3年度



○第72回“社会を明るくする運動第2回区役所との打合せ

月日 4月14日(木) 10:00~11:00

場所 東灘区役所4階打合せコーナー

出席者 東灘区役所まちづくり課担当
東灘区保護司会 米倉、和田保護司

議事 1 「社会を明るくする運動」チラシほかについて

- 2 「社会を明るくする集い」について
- 3 東灘区役所ホームページに新設する社明運動ページについて
- 4 東灘区広報紙コミコミへの掲載について
- 5 その他

など意見交換をしました。(和田保護司投稿)

○令和4年度 本庄支部総会

月日 4月23日(土) 18:00~18:45

場所 深江会館

出席者:大谷、梶井、小野、藤川、松本、南本、浮田、長瀬、谷口、椎野保護司(以上10名)

議題・連絡事項

- ・令和3年度事業報告
- ・令和3年度決算報告
- ・令和4年度事業案
- ・令和4年度予算案
- ・年会費徴収について
- ・社会を明るくする運動 パネル依頼
- ・5月定例研修について
- ・その他 (椎野保護司投稿)





【お知らせ】

○メールマガジン第34号（6月1日）

神戸市ホームページのカテゴリー「ホーム>区役所>東灘区>区の紹介>地域団体・地域活動」に「“社会を明るくする運動”東灘区推進委員会」のコーナーが令和4年5月17日に新設されました。

従来は、東灘区ホームページのお知らせ・区長お散歩日記、東灘区 Facebook そして東灘区民広報紙コミコミで、個々のイベントをタイムリーに取り上げて頂いておりました。

今年はこれらに加えて、四大事業である「社会を明るくする集い」「パネル展示」「大学生等メッセージ動画コンテスト」「小・中学生作文コンテスト」について、東灘区推進委員会のページでそれぞれの概要をお知らせし、詳しくは東灘区保護司会ホームページの当該か所にリンクしています。また、募集から結果まで都度更新し、年が替われば刷新することとしました。さらに末尾に関連リンクとして「東灘区保護司会」「法務省“社会を明るくする運動”」を設定しています。

東灘区保護司会ではホームページ、YouTube、Facebook、Twitter さらには Instagram を用いて、保護司会活動の内容を皆様にご案内し、理解を深めてもらうことに努めています。東灘区ホームページを通じ、私たちの活動が区民に広がっていくことを期待しています。（和田道夫）

○5月24日退任のご挨拶

本山支部 早田佳代保護司

短い間でしたがお世話になりました。ありがとうございました、皆様の健康とますますのご活躍をお祈り申し上げます。

本山支部 松本茂吉保護司

5年ぐらいの短い保護司活動ではありましたが中々経験出来ない事を経験させて頂き有り難く思っております。

コロナ禍で本業の方に専念しないといけない状況になり残念ですが退任することになりました。

これまで3人の担当をさせて頂きましたがもっとやってあげられる事、言ってあげないといけなかった事あった様に思っております。

皆さま大変ですが身体に気をつけて頑張ってくださいますようお願いしております。

ありがとうございました。感謝

○5月5日第72回”社会を明るくする運動”東灘区推進委員会 小・中学生作文コンテスト募集のポスター

東灘区推進委員会では“社会を明るくする運動”作文コンテストの応募数を増やすため、今年はポスターを制作することにしました。

毎年6月に、保護司が学校を訪問し校長等に応募依頼をしていますが、学校の取組みには温度差があり、5年生全員が授業で作文を書くところもあれば、先生止まりで子供たちに伝わっていないところもあるのが現状です。

そこで、応募校・応募数の増加を願い、ポスター制作を専門家に依頼することにしました。とかく保護司の発想では、子供たちに親しんでもらうために「ホゴちゃん、サラちゃん」などのキャラクターをメインに仕勝ちです。ところが、デザイナーに依頼してみると「作文コンテストの告知であることを大きくメインに扱い、どんなことを書けば良いのかわかりやすく伝える」説明型ポスターを提案して下さいました。

今までの”社会を明るくする運動”にはない「清楚なイメージ」、わかりやすいように工夫されているデザインと、関係者では大好評です。

作文コンテストの応募は「学校への依頼」だけでなく、「広報活動」すなわち、ポスターを学校の掲示板に張っていただき、東灘区広報紙コミコミに投稿します。更に、東灘区保護司会のホームページからフェイスブック、インスタグラム、ツイッターと展開していきますので、どうか皆さんによるシェア、拡散をお願いします。（和田道夫 投稿）



○5月17日 東灘区ホームページに”社会を明るくする運動” ページを開設

神戸市ホームページのカテゴリ「ホーム>区役所>東灘区>区の紹介>地域団体・地域活動」に「“社会を明るくする運動” 東灘区推進委員会」のコーナーが令和4年5月17日に新設されました。

従来は、東灘区ホームページのお知らせ・区長お散歩日記、東灘区 Facebook そして東灘区民広報紙コミコミで、個々のイベントをタイムリーに取り上げて頂きました。

今年はこれらに加えて、四大事業である「社会を明るくする集い」「パネル展示」「大学生等メッセージ動画コンテスト」「小・中学生作文コンテスト」について、東灘区推進委員会のページでそれぞれの概要をお知らせし、詳しくは東灘区保護司会ホームページの当該ページにリンクしております。また、募集から結果まで都度更新し、年が替われば刷新することとしました。さらに末尾に関連リンクとして「東灘区保護司会」「法務省“社会を明るくする運動”」を設定しています。

東灘区保護司会ではホームページ、YouTube、Facebook、Twitter さらには Instagram を用いて、保護司会活動の内容を皆様にご覧いただき、理解を深めてもらうことに努めています。東灘区ホームページを通じ、私たちの活動が区民に広がっていくことを期待しています。(和田道夫)

【メッセージ】

○5月11日 全国保護司連盟HPに投稿
第72回“社会を明るくする運動”小・中学生作文コンテストのポスターを作成しました

○5月25日 全国保護司連盟HPに投稿
区役所のホームページに“社会を明るくする運動” ページを開設しました

【地域からのたより】

○5月30日大森保護司投稿(中央区保護司会)
現在、第72回”社会を明るくする運動”中央区推進委員会開催中です。



【会員の投稿(保護司関連の話)】

○5月20日(金)深夜1:25~2:25
テレビ番組紹介(松澤保護司)

5月20日(金)カンテレ 深夜1:25~2:25
罪の行方~神戸連続自動殺傷事件被害者家族の25年

神戸市で5人の小学生を殺傷し、14歳の「少年A」が逮捕された神戸連続児童殺傷事件。少年法改正のきっかけとなったあの事件から、今年で25年になる。

殺害された土師淳君の父親にとって「犯罪」と向き合うだけでなく、あらゆる局面で闘いの日々だった。...



【会員の投稿(その他)】

○7月21日 リレー・フォー・ライフ寄席
(城村保護司)



【事業報告】

○魚崎支部会

日時 5月7日(土) 18:30~20:00

場所 魚崎西町会館

出席 清原、石島、宮田、石岡、松村、板井、
鳥井、長東保護司

議題

①連絡事項

社会を明るくする運動

御影クラッセ 7月3日(土)

②第1回統一研修

5月19日(木) 13:30~16:00

東灘区役所 4階会議室

保護観察中の「少年法の一部改正～特定少年の保護観察」

③第72回社会を明るくする運動「標語パネル」協賛のお願い

「標語パネル」協賛のお願い 担当振り分け

④魚崎支部会費等について

⑤魚崎支部「社会を明るくする運動」

7月16日(土)西町会館

小学校・中学校・青少協・地域の参加で開催予定

⑥状況報告 対象者人数・環境調整数

⑦情報交換 (長束保護司投稿)



○市保連理事会

日時 5月9日(月) 10:30~13:00

場所 神戸保護観察所1階会議室

出席者 和田会長

令和3年度事業実施結果報告書、収支決算書、令和4年度事業計画書、収支予算書
令和4年度総会開催などを審議。

昼食時、隣席の統括保護観察官と多岐にわたる意見交換ができました。(和田保護司投稿)



○第72回「社会を明るくする運動第3回区役所との打合せ

日時 5月12日(木) 13:30~14:30

場所 東灘区役所4階会議室

出席者 東灘区役所まちづくり課係長、担当

東灘区保護司会 米倉、松澤、和田保護司

議事

1 「社会を明るくする運動」チラシについて

2 「社会を明るくする集い」「パネル展」について

3 東灘区ホームページ及び東灘区広報紙コミコ

ミへの掲載について

4 その他

について意見交換をしました。かなり内容が煮詰まってきました。(和田保護司投稿)



○本山支部会

日時 5月12日(木) 19:00~20:30

場所 東灘区更生保護サポートセンター

出席者 和田、山下、松澤、川西、藤田、中瀬保護司

議題

・連絡事項

○ホームページ日より

○第72回「社会を明るくする運動」について
作文コンテスト依頼 各学校割当について

○令和4年度第1回地域別定例研修について

・審議事項

○令和3年度決算報告

令和4年度予算

・意見交換

○サポートセンター利用時予約が重ならないようにする注意について

○キーボックスの利用について

・その他 情報交換 (和田保護司投稿)



○住吉支部会

日時 月14日(土) 10:00~11:15

場所 佐々木保護司宅

出席者 佐々木、宮地、泉川、米倉保護司

議題

・令和4年度保護司会総会で寄せられた意見について

・令和4年度社会を明るくする運動

※7月3日(日) 社明の集い(御影クラッセだ

んじり広場にて)

※7月24日～8月5日 社明パネル展示(御影クラッセ4階ユースプラザ横通路にて)

※社明作文依頼

※社明パネル作成、依頼

・令和3年度支部会計収支報告

・5月19日

(木)第1回地域別定例研修(区役所会議室にて)

・オンライン自主研修

・保護司ホームページについて

・保護司活動における事例検討

・その他、意見・情報交換

(たくさんの意見交換ができました。)

(米倉保護司投稿)



○兵庫県推進委員会

日時 5月16日(月) 13:00～14:30

場所 兵庫県民会館 9階 けんみんホール

出席者 和田会長、米倉犯罪予防副部長

桑山更女会長

概要

第71回実施結果報告・決算報告、第72回実施要綱・予算が審議。その後、西宮地区BBS活動紹介、西区更生保護女性会の子供食堂が発表され、最後に岸田首相のメッセージ動画で締めくくられました。(和田保護司投稿)

○第1期地域別定例研修会

日時 5月19日(木) 13:30～15:15

場所 東灘区役所 4階 会議室

第1期研修テーマ「少年法の一部改正について～特定少年の保護観察～」

講師 渡部主任観察官

配布資料にもとに説明が行われ、後半は主任観察官が最近対応された事例について解説がありました。



まさに生きた事例で、参考になりました。その後、各専門部会を開催しました。(和田保護司投稿)

○令和4年度東灘地区青少年育成協議会理事会

日時 5月25日(水) 10:00～10:45

場所 東灘区役所3階 31・32会議室

出席者 和田会長

令和3年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画(案)・収支予算計画(案)が審議され、承認されました。その後、情報提供の場となり、まず東灘区保護司会から配布したチラシで小・中学生作文コンテスト募集への青少協の支援依頼、5月17日東灘区ホームページが開設されたことのお知らせと出席されている区長、まちづくり課の課長・係長・担当へお礼を述べた。引続き、警察署、区役所から情報提供がありました。(和田保護司投稿)



○東灘区広報紙コミコミ2022年6月号 “社会を明るくする運動” 大学生等メッセージ動画コンテスト



○保護司代表者会議および県連理事会

日時 5月27日(金) 10:30～14:00

場所 神戸保護観察所 5階 大会議室

出席者 和田会長

概要

保護司代表者会議で令和4年度業務重点事項ほか保護司会関係の連絡があり、昼食後、県連理事会で令和3年度事業報告などが審議された。いつもの通り、隣席の灘区・中央区の会長さんと情報交換を行った。(和田保護司投稿)



○ほんわかキッチン（川西保護司投稿）

5月29日、関西国際大学の学生さん5名(内1名BBS会員)、BBS会員1名が子供食堂ほんわかキッチンに大学のサービスラーニングを目的としてお手伝いに来て下さいました。

コロナ感染予防としてテイクアウト弁当のみの対応をさせて頂いておりますので、お弁当を詰める作業を中心にお手伝い頂きました。

おかずの調理が完成するまでに、別室にて学生さんそれぞれに自己紹介をして頂き、子供食堂ほんわかキッチンを開設する経緯を説明しました。



ほんわかキッチン

5月8日(日) - 5月29日(日)
12:00~14:00

子ども:無料 おとな:300円

子育て世帯はもちろん、大人の方も
学生さんも!どなたでもご利用下さい

※予約は開催日の3日前までにお受けいたします。
下記の開催地は雨天決行となります。

協力:東灘区社会福祉協議会

〒253-0292 東灘区東灘1-1-1 1F
TEL:078-440-5999
E-MAIL: info@honwoka.com

お弁当の調理はボランティアでお願いします。

お申し込みはこちらのQRコードを
ご入力ください。



～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

社会を明るくする運動

社会を明るくする集い

日時：令和4年7月24日(日)
12時30分開演
場所：御膳ヶ崎ササエだんしん905号
〒230-0202 東京都大田区大森9-5-10
TEL:03-3761-1111 FAX:03-3761-1112
http://www.oshinokuni.or.jp

パネル展示

「社会を明るくする運動」ポスター・理念
祝詞の読み書き勉強会パネル
大学生 御膳ヶ崎ササエだんしん
7月1日(金)～7月24日(日)
～8月15日(金)～
場所：御膳ヶ崎ササエだんしん4階
（1～5F）大田区御膳ヶ崎

小・中学生作文コンテスト募集

親世代を明るく小・中学生の皆さんに、日常の家庭生活、学校生活の中で犯罪や非行に
対して感じたこと、感じたことを題材とし
た作文を募集します。

締切日：
令和4年7月31日
※応募先：higashi-nadaku.72@harmel@gmail.com

大学生等 メッセージ動画 コンテスト募集

犯罪・非行の防止(御膳ヶ崎)づくりの理解
を促進するための立ち直りを支えること、
更生支援ボランティア等の福祉の発展、の
ためにご自身のメッセージ動画を募集します。
募集期間：令和4年6月16日～6月15日

“社会を明るくする運動”ってなあに？

“社会を明るくする運動”とは、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生につなぐ
理解を深め、それ若しの立場にかかわらず、犯罪や非行の防止と安全で安心な明るい地域社会を築くた
めの全国的な運動です。令和4年度「沙羅持杯」は、詳しくは、下記までお問い合わせください。

第72回「社会を明るくする運動」東洲区推進委員会(東洲区保護司会)

higashi-nadaku.72@harmel@gmail.com

お問い合わせ専用メール



東洲区ホームページ

第72回 社会を明るくする運動

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

小・中学生

作文コンテスト

- 犯罪や非行、地域社会の多様性に関して考えたこと感じたこと
- 人への思いやりについて
- 家族とのきずなについて
- 言葉やことわざ・ことわざの大切さについて

を



【テーマ】 日常の家庭生活、学校生活の中で体験したことを基に犯罪・非行のない地域社会づくりや
犯罪・非行をした人の立ち直りに関して考えたこと、感じたこと

たとえば…

- 犯罪や非行をなくすために私たちができると
- 犯罪・非行をした人の立ち直りに関して私たちができると

【表彰】 最優秀作品、優秀作品、佳作作品の
入賞者発表、表彰状及び謝状を贈呈



東洲区推進委員会

【投稿の応募】
小学生は東洲区御膳ヶ崎3-5-4郵便局

【締切日】2022年7月31日(金)
小・中学生は郵送して、東洲区御膳ヶ崎5-10-10

お問い合わせ専用メール

主催：「社会を明るくする運動」東洲区推進委員会(東洲区保護司会)・東洲区(おたけはら)

令和4年度第1回オンライン自主研修 感想・意見

① ①～④までのVTRを視聴しましたが、最も身近で有意義であった「**ス**」について感想を述べたいと思います。

犯罪・非行歴があっても、立ち直って社会で活躍しているお二方をインタビュー形式で紹介している内容でした。やはり、犯罪・非行までにおいて共通している事が多い事が分かりました。

犯罪・非行のきっかけは、社会・家庭に層別がなかったこと、立ち直りに最も大切なことは、自分の人生を考えること、あきらめない心であると。

また、刑務所・少年院を出たこと＝立ち直りではなく、苦しい時期を過ごして何とか立ち直ったというのが本当のところだ、との発言が印象に残りました。

このような立ち直った方の体験談は、保護司の活動に非常に参考になると感じました。

② 立ち直りの当事者である男性の話で、自分が少年院を出て、世界に放された時、「こんなに広い世界があるんだ。自分が生きてきた世界はとても小さかったことに気付かされた」という部分がとても印象深かった。

今後、特に少年の対象者と関わる時に、大いに参考にしたい。

③ 立ち直りの当事者と語る再犯防止

当事者の話には、永年の活動を通じた経験と想い、共感できる所がある。

一本の糸、という話が出てくるが保護司として、糸の一部になり、きちんとした糸にし、その糸を太くすることに、幾らかでも貢献できれば、と思う。

一方、糸の一部になることに務めることはできても、太くすることは、なかなか、保護司という立場から難しいというジレンマも感じる。

④ 刑事政策の命題である「犯罪を減らすためにはどうすべきか」の最も効果的な方法が、犯罪者を二度と犯罪者にしない、つまり、再犯をいかに防ぐかということである。少年院や刑務所といった施設内での処遇の効果をいかに上げるかが重要であり、施設経験者の実体験にもとづく話はリアリティーがあり、とても興味深かった。なかでも、二人の経験者が、施設での処遇を終えることですべてが終了するのではなく、それから社会で生活を送るようになることが、更生のはじまりであるということが述べられていたのが印象的であった。社会の中で更生していく。このためには、我々保護司が対象者を輔導援助するだけでなく、社会の構成員に対して、対象者を優しく見守ってもらうよう働きかける必要があることを強く感じた。

⑤ 「層別がそこしかなかった」という新井さんの言葉に、はっとしました。確かに、犯罪を犯したこと、非行行為などについては罰を受けなくてはなりません。その行為に至るまでの経緯があり、行動には理由があります。「そこにしか層別がなかった」というのは悲しいことですね。確かに迷った事であり、被害を被った人からすれば、救すことも難しい場合もあるでしょう。しかし、失敗がゆるぎされない、救すことができないような



社会も息苦しいような気がします。

入口支援など、再犯防止に関わる人これほどまで多くおられることにも驚きました。一人の回復のために、多くの方々の知恵と働きかけがあり、協力し合うことで、一人でも多くの方がいわゆる「普通の生活」を送れるようにと願うばかりです。

決して、動画に登場した方々のようにうまくいく人ばかりではないのが現実ですが、実際に回復している人がおられるという事実が励みになりました。

また、どうしても罪を犯した後に再犯防止という形でその人の必要に気づくこととなりますが、願うならば、犯罪に至る前に気づけるような、社会的支援の仕組みや取り組みができるとうれいですね。

⑥ 再犯防止取り組みで、お二人の方のご自分の経験・思いを拝聴し、保護司としましても貴重な意見を聞くことができました。

自分の人生を信じること（これは誰もがそうありたいです）、必ず誰か1人にでも認め受け入れてもらえること、苦しいときでも相談出来る人が必ずいること、1回のまちがいが人生の終わりではないこと、を更生された本人の言葉で知り、更生保護に関わる私たちに出来ることは、何よりまず居場所を作ってあげて、本人の会話を受け入れ支えになってあげれることと痛感いたしました。

⑦ ・立ち直りの当事者と繋る再犯防止

「居場所」～いろいろあっても頑張って、奨学金で福祉大学出て、「居場所」づくりをしている卒業生の支援をしているので、とてもありがたく拝聴しました。

人生は楽しいよって、、まず、保護司自身が、今の自らの枠を取り捨し、上から視線を完全に外さないと、与えられたミッションを完遂する事は難しいと、つくづく感じました。

明るい社会へ引っ張り込める社会支援システム、今一度見直さないと機能不全に陥りそうですよね、、

・検察における入口支援

是非、保護司が社会福祉士の資格をとって、社会福祉アドバイザーとして社会貢献できるような、学びのコースを保護司会と、法務省で作って頂きたいです！！

・再犯防止って誰のため？～FC東京の歌組～

“懲罰”がもっとすべての人々に、ふつ～にお持ち頂ける社会にならないと、分断は消えないなってつくづく感じました、、まずは、保護司自身からですね、、

・市民が市民に寄り添う支援

静岡のよりそい支援員システム、全国で導入頂きたいです。

私自身、保護司と関係なく、縁のあった方が経済的に困窮なさり、何とか、死や犯罪を選ばず済むように、その方のお住まいの福祉課や、社協と繋いだ経験があります、、すぐに民生委員には連絡しましたが、無視され、ご本人も、一度市に問い合わせ福祉課の方がお見えになったものの、「何もして貰えないという絶望」で終わり、、たまたま私に「最後の電話」を下されたのです、、

たまたまその市の福祉課に私の友人がいたので、話が前に進み、平なさを得ましたが、個人であちこち繋ぐのは、本当に大変でした、、

一日も早い、このシステムの全国導入を望みます。

⑧ 今までには保護制度を中心とした話題が多かったが、今回は「検察における入口支援」「地方自治体の再犯防止相談支援事業」について調べ、とても参考になった。令和2年では起訴25万人、不起訴51万人そして裁判確定22万人のうち罰金・料金が17万人とのこと。不起訴、罰金・料料などの再犯率、更生支援の実態などについてはあまり語られていなかった。

再犯防止の取組みがここまで進んでいることを知らされた。



【お知らせ】

○メールマガジン第35号（7月1日）

7月は“社会を明るくする運動”の強調月間です。東灘区保護司会の広報活動は紙媒体、インターネット媒体と頑張っています。

まず、紙媒体である配布チラシ。従来は「社会を明るくする集い」のチラシのみでしたが、今年は四大イベント「集い」「パネル展」「大学生等メッセージ動画コンテスト」「小・中学生作文コンテスト」を告知するデザインに。また「小・中学生作文コンテスト」単独のポスターおよびチラシを作成しました。

次に、インターネット媒体です。従来の保護司会のSNSに加えて、東灘区役所のホームページに“社会を明るくする運動”東灘区推進委員会」のコーナーが5月17日に新設されました。6月16日には、イベント会場である御影クラッセ ホームページの「イベントニュース」に、そして東灘区役所フェイスブックにも掲載されました。

このような広報のもと、区内にある5支部では標語パネル協賛のお願い、小・中学生作文コンテスト応募依頼の学校訪問、街中でのポスター展示、幟の掲示など精力的に活動を展開しています。

そして、3年ぶりに新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で、御影クラッセにおいて7月3日（日）だんじり広場で「集い」を開催します。引続き7月24日～8月5日4階ユーズプラザ北側の通路壁面で「パネル展示」をします。どうか、一人でも多くみなさまが参加してください、保護司会活動に関心を持って頂けることを願っています。（和田道夫投稿）

○6月4日 サイドバーに「更生保護女性会へのお願い」を！！



○「ダメ。ゼッタイ。」普及運動（令和4年6月20日～7月19日）



【メッセージ】

○6月1日 全国保護司連盟HPに投稿

“社会を明るくする運動”東灘区推進委員会のチラシを作成しました。

【地域からの頼り】

○大森保護司投稿（中央区保護司会）

今日（6月15日）は第1回定例研修会がありました。テーマ「少年法の一部改正について」～特定少年の保護観察～でした。又、5月25日付新任保護司2名の紹介もありました。現在の中央区役所での研修会開催が最後になりましたので、歴代研修部会長としてご挨拶させて頂きました。



【会員の投稿（東灘に関するなんでも話）】

○10月9日 東灘区制70周年記念だんじり巡行



【事業報告】

○本山支部会

日時 6月2日(木) 19:00~20:00
 場所 東灘区更生保護サポートセンター
 出席者 和田、山下、松澤、川西、藤田
 中瀬保護司

議題

- ・連絡事項
 - ホームページ日より
 - 第72回“社会を明るくする運動”について
作文コンテスト依頼について
- ・質疑事項
- サポートセンター当番カレンダーのICT化
アイコン取得
- SST(社会生活スキルトレーニング)研修の
実施について
- ・その他 情報交換 (和田保護司投稿)



○市保連総会

日時 6月3日(金) 16:00~16:45
 場所 神戸メリケンパークオリエンタルホテル

出席者 和田会長

東灘区保護司会は3年連続総会を书面審議としており、総会後の懇親会は欠席しました。



○東灘区更生保護女性会総会

日時 6月4日(土) 10:30~11:50
 場所 御影公会堂 2階 会議室
 出席者 和田会長(来賓)

初めて更生保護女性会の総会に出席しました。保護司OB、保護司の奥様、平日では仕事で出席できない保護司さんなど、懐かしい方々とお会いできました。保護司会では見られない和やかな雰囲気、沢山の茶菓子、黒一点の素晴らしい会合でした。(和田保護司投稿)



○魚崎支部会

日時 6月4日(土) 18:30~20:00

場所 魚崎西町会館

出席者 清原、石島、宮田、石岡、西口、高橋、
松村、板井、大谷、長束保護司

議題

①連絡事項

社会を明るくする運動

御影だんじり広場 12:30~

参加者の確認

②魚崎支部第72回社会を明るくする運動

ケース研究「ある保護観察事件から」

7月16日(土)13:30~魚崎西町会館

③作文コンテスト、高校生エッセイコンテスト

六甲アイランド高校

向洋中学校、魚崎中学校

向洋小学校、六甲アイランド小学校、

魚崎小学校

④社会を明るくする運動のぼり設置

6月26日(日) 9:00 集合

⑤社会を明るくする運動パネル

6月末入荷予定

⑥情報交換

新任保護司の紹介 (長束保護司投稿)



○第72回社明運動 クラッセ・区役所・保護司会三者打ち合わせ会

日時 6月6日(月) 11:00~12:00

場所 御影クラッセ事務所 会議室

出席者 御影クラッセ事務所 2名

区役所まちづくり課 2名

保護司会 4名(石島・山下・松澤
米倉保護司)

議題

- ・第72回社明運動チラシの依頼
- ・7月3日(日)社会を明るくする集いについて、
12時30分~ 御影クラッセだんじり広場
にて開催
*当日の予定、準備物等の確認、留意すべき点
等々確認、他
- ・パネル展示について、検討
7月24日~8月5日 御影クラッセ4階ユ
ースプラザ横通路壁面にて展示
23日準備作業、展示内容・準備物確認、
「パネル展示」は昨年度に引き続き開催させて
頂きます。

御影クラッセだんじり広場にて「社明の集い」は
3年ぶりの開催になります。感染対策もしっかり

取り、地域の皆様に社明運動のアピールが出来る
ようにしたいです。(米倉保護司投稿)



○作文コンテスト応募依頼の学校訪問 (本山支部 1)

6月7日山下支部長と川西保護司が本山第三小学
校を訪れ、校長に作文コンテスト応募を依頼しま
した。新任の校長先生で、更正保護活動について
理解しておられるという印象でした。(川西保護
司投稿)



○第72回“社会を明るくする運動”内閣総理 大臣メッセージ伝達式

日時 6月7日(火) 13:00~13時:20

場所 東灘区長室

出席者 区長、まちづくり課 課長、係長、担当
東灘区保護司会

和田会長、石島副会長、山下副会長、
米倉副部長、藤田会計



第72回“社会を明るくする運動”内閣総理大臣メッセージ伝達式を行いました。7月3日に開催される「社会を明るくする集い」について懇談し、また、全国ポスター、東灘区のチラシ・作文コンテストポスターなどを話題に意見交換をしました。(和田保護司投稿)



**○作文コンテスト応募依頼の学校訪問
(本山支部 2)**

6月9日山下支部長と永井保護司が本山第一小学校を訪れ、教頭先生に作文コンテスト応募を依頼しました。(永井保護司投稿)



○関西国際大学との連携活動

日時 6月11日(土) 10:00~11:30

場所 関西国際大学 2号館

概要

関西国際大学サービ斯拉ーニング A

BBS活動を通じて学ぶ地域の更生保護のキックオフミーティング 「保護司会、更生保護女性会についての説明」の授業に

東灘区保護司会 和田会長

東灘区更生保護女性会 桑山会長

が履修生16人(欠席3人)に活動紹介の講義をしました。(和田保護司投稿)



○6月11日 社明運動チラシを掲示



○住吉支部会

日時 6月11日(土) 10:00~11:00
場所 佐々木保護司宅
出席者 羽島名誉会員
佐々木、泉川、大野、上畠、米倉保護司

議事

- ・第72回社会を明るくする運動
 - ① 7月3日(日)社明の集い(御影クラッセだんり広場)開催について
 - ② 7月24日~8月5日パネル展示について
 - ③ 社明作文依頼について
 - ④ 社明標語パネル依頼について
- ・第1回地域別定例研修の復習
- ・第2回地域別定例研修の日時確認
- ・SST(社会生活スキルトレーニング)研修開催について
- ・その他、保護司活動の情報・意見交換、今後の予定確認、等(米倉保護司投稿)



○更生保護女性会 役員会

日時 6月13日(月) 11:00~13:00
場所 東灘区更生保護サポートセンター
出席者 桑山更女会長、山本、松澤、藤田、川崎、米倉会員

議事

- ・令和4年度更女総会(6月4日開催)お疲れさまでした
 - ・今後の更女活動について
 - ①社明活動、社明物資、検討
 - ②保護司会・BBS会との連携について
 - ③サービスラーニングについて
 - ④活動予定確認
 - ⑤その他、意見・情報交換
- たくさんの議題を検討し、意見交換できました。(米倉会員投稿)



○作文コンテスト応募依頼の学校訪問(本山支部 3)

6月16日山下支部長が福池小学校を訪れ、教頭先生に作文コンテスト応募を依頼しました。(山下保護司投稿)



○作文コンテスト応募依頼の学校訪問(本山支部 4)

6月17日山下支部長が本山南小学校を訪れ、作文コンテスト応募を依頼しました。校長とゆっく

り話が出来ました。(山下保護司投稿)



○令和4年度神戸市東灘区社会福祉協議会定時評議員会

日時 6月17日(金) 14:00~15:15

場所 東灘区役所4階 大会議室

出席者 和田会長

令和3年度事業報告(案)、決算報告(案)の議題の後、配布下さったチラシをもとに「社会を明るくする運動」について説明することが出来ました。(和田保護司投稿)



○社明標語パネルを掲示

地元自治会のご協力で社明パネル(5枚)を掲示させて頂きました(長束保護司投稿)



○作文コンテスト応募依頼の学校訪問(本山支部 5)

6月20日日本山南中学校を桑山・藤田保護司で訪問。教頭先生に社明運動と作文コンテストの説明と依頼をお願いしました。以前の学校においても周知されていたので各クラス(2・3年)にチラシを貼ってくださるとの事です。(桑山更女会員・保護司OB会員投稿)



○6月25日 関西国際大学との連携活動

サービスラーニング「保護司へのインタビュー」

日時 6月25日(土) 14:00~17:00

場所 東灘区更生保護サポートセンター

16名の学生さんが3班に分かれ、1時間ずつのインタビューを受けました。

少々手狭な場所での実施でしたが、学生さんお一人お一人を身近に感じられるインタビューの場となりました。

なお、世話役・対応者は、

BBS会長 大学の先生2名

昨年度の受講学生1名

保護司3名 OB保護司1名

(松澤保護司投稿)



○6月25日 ほんわかキッチン

関西国際大学の学生さん4名とBBS会会長さん、関西国際大学在学のBBS会員1名で子供食堂のお弁当詰めをお手伝い頂きました。お弁当も当初73食のご予約でしたが、予約受け忘れの手違いがあり10食追加というハプニングがありました。スタッフが共に楽しい一時を過ごさせて頂きました。(川西保護司投稿)



○魚崎支部のぼり建て

6月26日(日) 9:00~10:30
場所 清重商店集合~魚崎西町会館~魚崎幼稚園
~魚崎小学校~横屋会館~魚崎中学校
~清重商店解散
出席 清原、石畠、宮田、西口、松村、板井、
長束保護司(長束保護司投稿)



○県連広報部会

日時 6月30日(水) 10:30~12:50
場所 神戸保護観察所 1階 会議室
出席者 和田会長
やっと実現した対面会議。保護司7名、観察所3名、事務局2名と比較的少人数の会議。昼食懇談も含めて、和やかな時を過ごせました。



○作文コンテスト応募依頼の学校訪問 (本山支部 6)

6月30日 本山第二小学校を和田・松澤・大西保護司で訪問。校長先生に社明運動と作文コンテストの説明と依頼をしました。7月3日「集い」に参加したいとのうれしいお言葉を頂きました。(和田保護司投稿)



○作文コンテスト応募依頼の学校訪問 (本山支部 7)

6月30日 本山中学校を和田・松澤保護司で訪問。校長先生に社明運動と作文コンテストの説明と依頼をしました。最近の非行内容、そして新しい制服、部活の状況など意見交換をしました。(和田保護司投稿)



○東灘区役所 1階



○東灘区役所 4階



神戸市東灘区役所
★お気に入り 4時間前 / 4

【「社会を明るくする集い」にお越しください！】
7月3日（日）に御影クラッセだんじり広場で「社会を明るくする集い」が開催されます！

犯罪や非行をなくすためには、どうすればよいでしょうか？
消防音楽隊による演奏を楽しみながら考えてみませんか？

「社会を明るくする運動」とは、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全体的な運動です。

犯罪や非行のない安全で安心な暮らしをかなえるために、何がもたらされているか？
自分には何ができるのか？
「社会を明るくする集い」に参加し、考える“きっかけ”にしてみたいかがでしょうか？

日 時：7月3日（日曜） 12:30～ ※雨天中止
場 所：御影クラッセだんじり広場（阪神御影駅北側すぐ）
神戸市東灘区御影中町3-2-1
#神戸市 #東灘区 #社会を明るくする集い #御影クラッセ

「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」
社会を明るくする運動

“社会を明るくする運動”集い・パネル展示

第72回“社会を明るくする運動”に伴い、保護司会を中心に犯罪・非行の防止や更生保護などを呼びかける「社会を明るくする集い」を開催し、パネル展示を行います。

〈社会を明るくする集い〉
日 時 7月3日 日 12:30～13:30
場 所 御影クラッセ広場

〈パネル展示〉
日 時 7月24日 日～8月5日 日
場 所 御影クラッセ4階

東灘区推進委員会
(東灘区保護司会)
☎772-9019
☎779-7079
✉higashinadaku.72shamei@gmail.com





○6月8日 御影クラッセ チラシの掲示版・



チラシの配布



○6月16日 御影クラッセ ホームページ





【お知らせ】

○メールマガジン第36号（8月1日）

東灘区保護司会では、小さなICT化に取り組んでいます。

ひとつは、更生保護サポートセンター当番カレンダーを無料アプリケーション「Google スプレッドシート」を用い、リアルタイムで情報共有しています。

従来、サポートセンター利用の管理はサポートセンター長が、当番駐在の管理は総務が行い、関係者間の日程調整、ダブルブッキング防止はメール・FAX・電話で行っていました。

7月から、スマホのホーム画面にあるアイコンからクリック2回でカレンダーに入力でき、簡単にリアルタイムの「見える化」が実現しました。

併せて、当番カレンダーの共有アカウントで当番駐在者がサポートセンターでメールの送受信ができるようになりました。

もうひとつは、サポートセンター活動日報です。

当初から、「手書き」の日報をセンター長と総務に「FAX」し、ファイルに保存していました。そのうち、手書きではなく「パソコンに入力」する保護司が増えてきました。また、FAXの用紙セットを省くため「パソコンから直接FAX」することも。

更に、こんな試作も。ファイルを開いたときに新しい日報用紙が「自動的に追加」、入力手間を少しでも省く「プルダウン機能」の採用など。

保護司会は多士済々な方々の集まりですが、みなさんのご支援で、FAXレス、ペーパーレス、そして更なるICT化が徐々に進んでいます。

○8月25日 心かよわす市民のつどい



○7月1日 第72回“社会を明るくする運動”『キックオフイベント』が開催されました



○7月5日 法務大臣閣議後記者会見の概要

・・・本日の閣議では、私から閣僚の皆様へ、本運動・や再犯防止への御支援と御協力をお願いしました。閣僚の皆様には、本日から4日間、犯罪や非行のない社会づくりに取り組む決意のしるしである「幸福（しあわせ）の黄色い羽根」を着用していただいています。・・・

○令和4年度第2回オンライン自主研修のご案内



○令和4年度第3回オンライン自主研修ご案内

【メッセージ】
○7月1日 小さなICT化に取り組みました

○7月13日 全国保護司連盟HPに投稿
東灘区保護司会（兵庫県）の小さなICT化の取組を紹介します。

○7月21日 全国保護司連盟HPに投稿
東灘区保護司会（兵庫県）“社会を明るくする運動”が「区長お散歩日記」で紹介されました。

【地域からの頼り】
○7月3日大森保護司投稿（中央区保護司会）
3年ぶりに開催出来た社明広報パレード。やって良かったです！！

○令和4年7月15日「区長お散歩日記」で“社会を明るくする運動”が紹介されました



○東灘区広報紙コミコミ2022年8月号 “社会を明るくする運動” 小・中学生作文コンテスト

○7月29日大森保護司投稿（中央区保護司会）

本日、公開ケース研究会を新中央区役所8階大会議室で開催しました。神戸保護観察所から三角統括が所長代理で出席されました。



【会員の投稿（保護司関連の話）】

○韓国人気キャラクター「ペンス」を紹介

令和4年7月7日「NETFLIX ウ・ヨンウ弁護士は天才肌」配信「3. ペンスでいきます」で「ホゴちゃん？」が登場。韓国で圧倒的人気を誇るキャラクター「ペンス」です。



○7月9日 ほんわかキッチン（川西保護司）

今回もコロナ対策を講じながらではありますが、無事に子供食堂を開催できました。関西国際大学生のサービスラーニングも残り1回の開催となりましたが、若い学生さんの活躍で活気づき、他のスタッフの方々も大変喜んでおられました。今回は77食のご利用でした。



○7月17日ほんわかキッチン（川西保護司）

今月2回目の子ども食堂に関西国際大学生の皆さんがBBS会員と共に最後のサービスラーニングとしてお手伝い下さいました。来月は民生委員の活動見学として神戸女子大学生が課外授業でお手伝い下さることになっております。



○7月15日 BS朝日 密着！保護司という活動



○西区保護会石川センター長来所

日時 7月19日（火）13：00～14：50
場所 東灘区更生保護サポートセンター
出席者 和田会長（サポセン当番駐在）

昭和28年12月2日に「サポートセンター設立に向けて」の情報収集にサポセンに来られて以来の訪問。今回の話題は、ホームページから始まって、甲南大学・関西国際大学の連携活動まで、あらゆる分野に渡っての約2時間。5年前と全く変わらないテンポ。元気ももらいました。（和田保護司投稿）



【事業報告】

○7月1日 区役所壁面に懸垂幕



○本山支部会

日時 7月2日(土) 10:00~11:10
場所 東灘区更生保護サポートセンター
出席者 和田、山下、石田、井上、藤田、中瀬、大西護司

議題

- ・連絡事項
 - ホームページだより
 - 第72回“社会を明るくする運動”について
作文コンテスト依頼と選考会について
社明の集い
社明パネル展示
個人用の配布
- O S T (社会生活スキルトレーニング) 研修
10月23日(日) 9時から12時30分
場所 魚崎西町会館
- ・その他 保護司にまつわる世間話
(和田保護司投稿)



○魚崎支部会

日時 7月2日(土) 18:30~20:00
場所 魚崎西町会館

出席者 石畠、宮田、西口、松村、板井、石岡、高橋、鳥井、長束保護司

- ①連絡事項
- ②第72回社会を明るくする集い
- ③社会を明るくする運動
魚崎支部ケース研修会
7月16日(土) 13時30分から
魚崎西町会館
- ④社会を明るくする運動広報活動について
- ⑤魚崎夏祭り社明運動について
- ⑥情報交換 (長束保護司投稿)



○7月3日 社明標語パネルの掲示

社明運動パネル マンションロビーに掲示してもらいました。(石田保護司)



○第72回”社会を明るくする運動”魚崎支部『ケース研修会』

日時 7月16日(土) 13:30~15:30
場所 魚崎西町会館
出席団体
魚崎小学校 PTA、魚崎中学校 PTA、民生児童委員、魚崎婦人会、防犯協会魚崎支部、魚崎小学校保護司

住吉支部 米倉保護司
魚崎支部 石畠、清原、宮田、西口、松村、長束保護司

(長束保護司投稿)



○7月3日 社会を明るくする集い（その1）

日時 7月3日（日）12:30～13:30分

場所 御影クラッセ だんじり広場

2日前までは災害級猛暑を心配し、昨日と今朝は雨に悩まされたが、本番になると曇り空で蒸し暑いが時たま風も吹き、この時期としてはまずまずの天候でした。忙しい昼時にも関わらず多くのみなさんが参加下さいました。

3年ぶりの開催ですが、さすが多士済々の保護司、準備は素早く、接客は丁寧で、幟をもった街頭広報も的確、そして撤収も見事！！みなさんお疲れ様でした。

そして、東灘区長・保護観察所長・警察署長・区役所員・保護観察官・警察署員、ご来賓、更に参加された地域の皆様、ありがとうございます。また、神戸市消防音楽隊そして御影クラッセの皆様、大変お世話になり、ありがとうございます。



第72回 社会を明るくする運動 ～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の子カラ～

社会を明るくする集い

日時 令和4年 7月3日（日） 12時30分～（受付12時より）

会場 御影クラッセ だんじり広場

次第

1. 開会のことば
2. オープニング演奏 神戸市消防音楽隊〈演奏曲目「さんば」〉
3. 「社会を明るくする運動」について 東灘区保護司会 会長 相田 源次
4. 幹事委員長あいさつ 東灘区長 植松 賢治
5. 来賓紹介、あいさつ 神戸保護観察所 所長 柳地 瑞
東灘警察署 署長 沢田 英敏

6. 地域の集い

・幹事委員長からの呼びかけ

・神戸市消防音楽隊

演奏曲目

1. Metal (緑黄色社会)
2. 上を向いて歩こう (坂本 九)
3. ドラえもん (星野 源)
～消防、警察、更生保護女性会、BBS会の広報～
4. ベアロボウス (櫻里)
5. 1-2-3 (ポケットモン스터主題歌)
6. 真実京平セットメドレー
〈真夏の出来事、魅せられて、残んでイスタンブール、また逢う日まで、等7曲〉

7. 閉会のことば



○7月3日 社会を明るくする集い（その2）



○FACEBOOK（大野保護司）



○7月23日 パネル展の設営

日時 7月23日10:00~11:30

場所 御影クラッセ 4階

参加者 和田、石畠、山下、米倉、永井保護司

東灘地区BBS会員 1名

関西国際大学 2名

パネル展示は2年目、昨年よりも

パネル位置を低め、間隔を狭め

に改善しました。手順はスムーズで、わずか1時間半で完了。設営の合間に、関西国際大学の先生、BBS会員のみなさんと今後の取組みについて意見交換が出来ました。(和田保護司投稿)



○7月23日 パネル展示

第72回“社会を明るくする運動”に伴い、犯罪・非行の防止や更生保護などを呼びかけるパネル等を展示します。

日程 7月24日(日曜)~8月5日(金曜)

場所 御影クラッセ4階

ユースプラザ北側の通路壁面

内容 “社会を明るくする運動”ポスター

・標語・幟

保護司会等活動紹介パネル

大学生研究発表パネル

などを展示。今年が目玉はやはり関西国際大学生の研究発表パネルです。じっくりご覧になってください。そして、保護司・保護司会・更生保護女性会・BBS会の活動にご理解、ご支援をお願いします。更に、ご一緒に活動される方をお待ちしております。(和田保護司投稿)



○関西国際大学との連携活動

東灘区保護司会では、東灘地区BBS会活動に協力して、関西国際大学のコミュニティスタディである「サービスラーニング」のひとつのプログラムを担っています。

これは地域での貢献活動により、社会との関わり方や、地域・社会の問題や発見などを通じて、これからの学びにつなげるというものです。

今年の春学期プログラムは「保護司紹介の受講」「保護司へのインタビュー」「ある保護司が運営している子供食堂への参加」などであり、これらの活動を“社会を明るくする運動”東灘区推進委員会「パネル展示」で発表しました。



保護司の活動について

〈全体の学びの気づき〉

保護司の活動は、罪を犯した人の社会復帰に大きく貢献する活動であり、再犯率が高い現状の社会を良くするために必要な存在です。しかし、現状保護司についてまだ知られていない部分が多くあるため、当ポスターでは保護司の活動に重点を置いて紹介していきます。

保護観察とは

保護観察は犯罪の再発・再犯を防止、その改善を図ることを目的として、通常の社会生活を営む者から、保護観察官と、保護司が協働して実施する。

保護観察対象者とは

- 保護観察付1年
- 少年院送致児童
- 告知児童
- 保護観察付2年未満の少年
- 保護観察付1年未満の少年
- 少年院送致児童

少年の保護観察区分別の流れ

〈年少者〉
犯罪により罪を犯した少年

〈保護少年〉
保護少年で保護観察中に経過する行為者（12歳未満の少年については有罪責任を問わない）

〈年少者〉
保護観察中に犯罪に類した行為があるなど、その他給付は困難に陥り、科刑・審判、又は保護観察付1年未満の少年を有罪とするおそれがある少年を指す。

保護観察対象者

少年院送致児童	少年院送致児童
少年院送致児童とは、少年院に送致された少年を指す。	少年院送致児童とは、少年院に送致された少年を指す。

保護司の仕事とは①
〔保護司さんへのインタビューより〕

保護司とは
保護司は、更生手帳に基づき保護司から委託を受けたボランティアの国家公務員で、犯罪や非行に陥った人の更生をサポートする仕事をしている人です。

体験談 1 - ボランティアでやれること -

- 実働中番で30代の方を対象に保護観察をしている際、その対象者の家族からの電話が絶えなかった。
- 保護観察所には業務時間が決まっているが、保護司はボランティア活動の一環であるため、時間が決まっておらず、朝早くから戻ってくる。また、お正月などの行事の際も、電話がかかってくるのがあった。
- しかしそれらも保護司の役割であるため、しっかりと適切な対応を行った。

対象者

- 犯罪の多いと懸念されている
- 犯罪の被害者である
- 犯罪の加害者である

保護司の仕事とは②
〔保護司さんへのインタビューより〕

保護司になるには
保護観察官から依頼を受けた保護司として活動が出来る。
(本人は一人で出来るが、必要に応じて関係機関と連携しながら活動を行う)

保護司の主な仕事
保護観察対象者の面談・面談を通して社会復帰を目指す。
(未成年の保護者の場合保護者の面談も重要)
面談の際には、法律の知識や担当の保護観察官との連携など、様々な情報が必要となる。

体験談 2 - 中学生と高校生への対応の違い -

- 中学生の対象者であった場合、「懲戒教育」があるため、退学などの処分は受けにくい。そのため、退学のほかにも学校との連携も必要不可欠となる。
- 高校生からは退学になるおそれがあるため、学校側には快くは依頼に保護観察を行う場合がある。

更生保護に関わる人たちと取り組み

<全体のまとめ> 犯罪や非行を行った人たちが社会復帰していくためには、保護司や NPO 会、更生保護女性会といった更生保護に関わる人たちや、地域の人たちの協力が大切と感じました。また、子ども食堂への参加を通して、安心安全な社会を作っていくためには、地域全体が一体となって課題と向き合っていくことが大切であると実感しました。

更生保護とは

更生保護は、犯罪や非行をした人たちに對し、社会の中で立ち直りにつける保護や支援を行うことにより、その再犯を防止、社会復帰と自覚を促す活動

↓

「保護司(士)」と「更生保護女性会」が活動

更生保護活動には地域社会との連携が必要不可欠



保護司さんへの質問

保護司ってどんなお仕事ですか？

犯罪や非行をした人たちが社会で立ち直り、再犯を防止し、社会復帰と自覚を促す活動を行うことにより、その再犯を防止、社会復帰と自覚を促す活動

なぜ続けられるのか

保護司は、犯罪や非行をした人たちが社会で立ち直り、再犯を防止し、社会復帰と自覚を促す活動を行うことにより、その再犯を防止、社会復帰と自覚を促す活動

やりがい

犯罪や非行をした人たちが社会で立ち直り、再犯を防止し、社会復帰と自覚を促す活動を行うことにより、その再犯を防止、社会復帰と自覚を促す活動



更生保護に関わる人

保護司

犯罪や非行をした人たちが社会で立ち直り、再犯を防止し、社会復帰と自覚を促す活動を行うことにより、その再犯を防止、社会復帰と自覚を促す活動

更生保護女性会

犯罪や非行をした人たちが社会で立ち直り、再犯を防止し、社会復帰と自覚を促す活動を行うことにより、その再犯を防止、社会復帰と自覚を促す活動

NPO 会

犯罪や非行をした人たちが社会で立ち直り、再犯を防止し、社会復帰と自覚を促す活動を行うことにより、その再犯を防止、社会復帰と自覚を促す活動

子ども食堂

犯罪や非行をした人たちが社会で立ち直り、再犯を防止し、社会復帰と自覚を促す活動を行うことにより、その再犯を防止、社会復帰と自覚を促す活動

ほんわかキッチン

犯罪や非行をした人たちが社会で立ち直り、再犯を防止し、社会復帰と自覚を促す活動を行うことにより、その再犯を防止、社会復帰と自覚を促す活動

保護司に必要なこと

犯罪や非行をした人たちが社会で立ち直り、再犯を防止し、社会復帰と自覚を促す活動を行うことにより、その再犯を防止、社会復帰と自覚を促す活動

子ども食堂で連携していくために必要なこと

犯罪や非行をした人たちが社会で立ち直り、再犯を防止し、社会復帰と自覚を促す活動を行うことにより、その再犯を防止、社会復帰と自覚を促す活動

NPO 会の活動について

活動内容

- 犯罪や非行をした人たちが社会で立ち直り、再犯を防止し、社会復帰と自覚を促す活動を行うことにより、その再犯を防止、社会復帰と自覚を促す活動

活動場所

- 犯罪や非行をした人たちが社会で立ち直り、再犯を防止し、社会復帰と自覚を促す活動を行うことにより、その再犯を防止、社会復帰と自覚を促す活動



子ども食堂

子供や高齢者、地域の人々に押し、無料または低価格で栄養のある食事や居場所を提供

地域の交流の場としても活躍する場所も




NPO 会の活動について

活動内容

- 犯罪や非行をした人たちが社会で立ち直り、再犯を防止し、社会復帰と自覚を促す活動を行うことにより、その再犯を防止、社会復帰と自覚を促す活動

活動場所

- 犯罪や非行をした人たちが社会で立ち直り、再犯を防止し、社会復帰と自覚を促す活動を行うことにより、その再犯を防止、社会復帰と自覚を促す活動



ほんわかキッチンでは

子供だけでなくお年寄りも楽しめる場所である

食堂としてだけでなく不登校の児童の増加の支援も

地域が支え合う場所として子ども食堂を作ることで課題から認められた




様々な方法で支えとなる人達

更生保護ボランティアの皆さん

保護司は犯罪や非行によって保護観察を受けた者に指導・助言を行い、更生を図るためのさまざまな手助けをしています。

更生保護女性会は女性性としての立場で、地域社会の犯罪・非行の未然防止のための啓発活動を行うとともに、青少年の健全な育成を助け、犯罪や非行をした人の更生支援活動を行うことを目的としています。

BBS会は兄弟姉妹のような存在として、様々な問題を抱える少年たちに助けるボランティア活動です。

協力関係主は犯罪・非行の初犯のために定職に就くことが容易でない刑務所出所者等とその事情を理解した上で雇用し、改善更生に協力する民間の事業主です。



子ども食堂

今回参加した子ども食堂さんでは、経済的な問題を抱えた人・家庭だけでなく、その地域で同じ悩みを持つ人達が、1人で抱え込まないように、問題を共有しお互いに助け合う姿の、助け合いの場、出会いの場としての役割がありました。

予約制で
1食100円!



左が5/29 右が7/22に、お参観いしに来ました。
7/22には予約・A4用紙がなくてご迷惑しました！

9:00	近所の駅に集合
9:15	子ども食堂到着
9:20	子ども食堂で行っている 管理の説明
10:00	お弁当作り開始
12:00	お弁当の受け渡し
13:30	解散

たくさん貴重なお話を聞かせていただきました。
その中で2つビックアップしました。
保護司さんにインタビュー!

保護司をしていて
離しかったことはなんですか?

始めは行く、時間が経つと時間が経つと行かなくなる。

薬物依存 保護観察

訪問しなかったり、訪問しても

子ども食堂の感想・感じたこと

5/29の子ども食堂に参加した中で、協調性を大切に周りの意見を尊重して動く大切さを知りました。周りのことを考えて動けたと思います。

色合いや栄養バランスの考えられたお弁当で、思っていた以上に色鮮やかでバランスのよい食材を使っており、想像以上に豪華なお弁当でした。



上が5/29に作ったお弁当
下が協力してお弁当を作っている写真です

保護司をしていて
離しかったことはなんですか?

経済的な問題には関与できない、金銭的な面も勿論、仕事を紹介できたとしても行きたがらないなど。

薬物依存の問題。依存性が高いためなかなか克服できない。また、悪い集団と関わることをやめさせるのが困難など

保護観察が受けにくい現実。平日は仕事を命じられているにも関わらず平日しか開いていない保護観察も命じられているという矛盾が発生しているという問題。

子ども食堂の感想・感じたこと



心理学科 3年
子ども食堂 6/25参観

今回参加した場所がお寺の一室であった事もあり、お弁当を作る際に周りに気を付けないといけない中、74個近くのお弁当を作るのは大変でした。

ただ、子連れのお父さんや子供連れにお弁当を受け渡した時に達成感を感じ、子ども食堂に参加して良かったという気持ちになりました。

観察保護対象者たちに
共通点
ってありますか?

はい!!

インタビュー中に
誰か・何が
彼らの間に入る事が出来ていたら、
1歩その先に踏み込んでしまうことを
助けたのでは? ということが多い
と話されていたことが心に響きました。

私たちは
なにが
出来るの
かな……?

まとめ

犯罪を犯してしまった時、立ち直る助けになる**保護司さん**、**BBS会員の皆さん**の働き方や考え方に触れさせて貰う機会を頂きました。問題を共有し地域的に助け合う**子ども食堂**に参加し、様々な状況下で支えとなる人達がいることを知りました。これらの事から私たちは人と人との繋がりの大切さや頼もしさを知り、この授業のみで留まらず、今後の人生で活かしていきます。

“社会を明るくする運動”東灘区推進委員会

社会を明るくする運動ってなあに？

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。東灘区では、推進委員を東灘区長が総務、保健委員会を中心に活動しています。令和4年で72回目を迎えます。



社会を明るくする集い

第72回“社会を明るくする運動”に伴い、犯罪・非行の防止や更生保護などを呼びかける街頭啓発活動を行います。詳しくは、こちら「地区リンク」(東灘区推進委員会ホームページ)

日時

7月3日(日曜) 12時30分から13時30分

場所

御影クラッセ だんじり広場

内容

「社会を明るくする集い」は当日、多くのみなさんにご参加いただきました。



社会を明るくする集い

7月3日(日) 12時30分～13時30分

1. 開会式
 2. 地区別パレード (地区別パレード)
 3. “社会を明るくする運動”について (東灘区推進委員会 担当 担当)
 4. 街頭啓発活動 (担当 担当 担当)
 5. 閉会式 (担当 担当 担当)
6. 参加者へ
- 街頭啓発活動について
- 街頭啓発活動
1. 街頭啓発活動
 2. パネル展示
 3. パネル配布
 4. パネル回収 (回収場所：御影クラッセ4階)
7. 参加費

パネル展示

第72回“社会を明るくする運動”に伴い、犯罪・非行の防止や更生保護など詳しくは、こちら「地区リンク」(東灘区推進委員会ホームページ)

日程

7月24日(日曜)～8月5日(土曜)

場所

御影クラッセ4階 ニュープラザ北側の通路壁面

内容

“社会を明るくする運動”ポスター・啓発
推進委員会活動日記パネル
大学生等メッセージ動画パネル 社会を明るく





【お知らせ】

○メールマガジン第37号（9月1日）

東灘区保護司会では、東灘地区BBS会活動に協力して、関西国際大学「サービスマーケティング」の一つのプログラムを担っています。

この授業は地域での貢献活動により、社会との関わり方や、地域・社会の課題発見などを通じて、これからの学びにつなげるというものです。

今回の春学期プログラム「BBS活動を通して学ぶ地域の更生保護（単位数 1）」では「保護司の講話」「保護司へのインタビュー」「ある保護司が運営している子供食堂への参加」に取り組みました。

履修生16名は、これらの活動で学んだことを“社会を明るくする運動”「パネル展示」で発表し、「大学生等メッセージ動画コンテスト」に応募し入賞作品に選ばれました。

「聴く」「尋ねる」「行動する」そして「発表する」ことで、短時間ではありますがかなりのレベルの「学び」が出来たのではないかと思います。欲を言えば、引続きBBS会員として活躍していただければうれしいのですが・・・。

来月から秋学期が始まります。授業担当教員、BBS会員とともにプログラムを更に充実させ、履修生が更生保護の概念を理解し、参加活動に意欲的に取り組み、さらには積極的に意見を述べる「場」が提供できればと考えています。

○8月18日 Facebook（東灘区役所）



○8月23日 保護司の関わっているアディクション関連問題



【地域からの頼り】

○8月8日大森保護司投稿（中央区保護司会）
今年創立150周年を迎える母校です。昔、PTA会長してました。



【事業報告】

○8月4日 中央区保護司会・東灘区保護司会懇談会

日時 8月4日（木）14:00～15:10

場所 中央区更生保護サポートセンター

出席者 中央区保護司会 横山直美、大森副会長
中村理事

東灘区保護司会 和田会長、米倉・藤田理事
テーマ 小中学校作文コンテスト表彰式の件

先日、大森副会長に、今年初めて作文コンテスト表彰式を行うので、そのノウハウのご教示をお願いしたところ、快く引き受けて下さり、本日の懇談会となった。

話題は表彰式に止まらず、社会を明るくする運

動、トライあるウイーク、学校との連携活動、各専門部会の役割分担等多岐にわたり、今、参考にすべきこと、今後に向けて取り組むべき事項と、数多くのことが学べました。(和田保護司投稿)



○本山支部会

日時 8月4日(木) 19:00~20:10
 場所 東灘区更生保護サポートセンター
 出席者 和田、松澤、山下、川西、石田、永井、井上、藤田保護司



議題

- ・連絡事項
 - ホームページだより
 - 第72回“社会を明るくする運動”について
 - 作文コンテストについて
 - 社明パネル展示について
 - 社明協賛パネル収支報告
 - 学校との連携強化事業について
- ・その他 学校との連携活動、新任保護司候補者の発掘など意見交換 (和田保護司投稿)

○魚崎支部会

日時 8月6日(土) 18:30~20:00
 場所 魚崎西町会館
 出席者 清原、石島、宮田、西口、松村、板井、大谷、石岡、長束保護司

議題 ①連絡事項

- 「社会を明るくする運動」作文提出
 - 9月6日 支部長に提出
 - 9月9日 サポートセンターに提出

②学校との連携

9月6日(火) 13時25分~
 魚崎中学校 図書室
 講師 高橋聡美先生

③第2回 地域別定例研修

『保護司の複数担当による処遇について』
 9月8日(木) 13時30分~
 東灘区役所 4階会議室

④研修

- 1) 保護観察の名称について
- 2) 特定少年について

⑤処遇関係様式について

⑥情報交換 (長束保護司投稿)



○作文コンテスト表彰式打合せ

日時 8月23日(火) 11:00~12:00
 場所 東灘区役所4階 大会議室
 出席者 東灘区役所まちづくり課担当

東灘区保護司会 和田、米倉、藤田保護司
 概要 東灘区としては初めての表彰式を開催することに。本日は案内文、式次第、会場レイアウト、区役所・保護司会役割分担、スケジュールなどについて詳細な打合せをしました。イベントへの関係者の共通認識が重要で、とても有意義な打合せでした。(和田保護司投稿)



○本庄支部会

日時 8月27日(土) 18:00~18:45
 場所 深江会館
 出席者 大谷、梶井、小野、永島、藤川、浮田、谷口、甲斐、椎野保護司(以上9名)

議題・連絡事項

- ・会費について
- ・新任、退任保護司について
- ・御影クラッセ展示会について
- ・社会を明るくする運動 作文について
- ・定例研修について
- ・その他 (椎野保護司投稿)



大学生等メッセージ動画コンテスト審査結果

(募集期間 令和4年6月15日～8月15日)

東灘区保護司会では、今年初めて“社会を明るくする運動”大学生等メッセージ動画コンテストを行いました。

応募5点から次の入賞作品が決定しました。応募くださった皆様、素敵な動画ありがとうございました。

一人でも多くの方に動画を視聴いただき、応募者の皆さんの思いを犯罪や非行のない地域社会づくりに役立ててもらおうとともに、これから応募される皆さんの参考になることを願っております。

関西国際大学心理学部心理学科Sグループ 様 「更生保護を知って」



早稲田大学広域BBS会 様 「だから私たちは、BBS」



令和4年度第2回オンライン自主研修 感想・意見

- 政府の広報番組であり、「保護司とは何か」について、分かりやすく説明されていました。
- 保護司の人数について、最近ではずっと減少傾向にありましたが、2022年に増加していましたが、その理由について知りたいと思います。
- 保護司が少なくなったと言われていますが、犯罪者数が減少している中で、保護司がそれに合わせて減っていくのは、自然で適切な傾向であろうと思います。逆に、保護司になっても、長い間対象者が無くモチベーションが維持できない場合もあると聞くと、その方が問題であるように思えます。
- また、保護司の高齢化が問題だと言われますが、一般論ですが、保護司には人生経験が必要だと思います。若手の保護司を増やすよりも、人生経験を積んだ年配の方の保護司を増やした方が良いと思います。

○住職さんの、「芯から悪い人間はいないと思っている」という言葉が印象的だった。
我々保護司が対象者に接するにあたって忘れてはならないことであり、これが保護司として活動する根本のエネルギーであると再認識できた。

○若い「保護司」さんに焦点をあて、会社員・二児の母で限られた時間を更に捻出して保護司になっておられる方のインタビューはとても励みになりました。ただ、一日のスケジュールが示され、「対象者の家を訪問 面接」1時間、「報告書作成」1時間、「昼食 報告書作成・対象者に連絡」1時間と1日3時間を費やしていることになっていました。当たり前のことですが、これは毎日ではなく、月2回程度のもので。若い「新任保護司候補者」確保への広報としては、誤解のないようにしていただきたい。

○貴寮の経験をお話しているところで
以前の対象者から連絡があった、元気でやっている
というようなお話があり共感するところがありました
やりがいの一つですね
保護司の活動・仕事等も丁寧にせつめいされているなあと感じました
しかし、ジャルジャルさんのくだりはまったくいらぬものだと感じました

令和4年度 東灘区保護司会 第2回オンライン自主研修のご案内

【教材】B5期日 7月15日（金）18時から18時30分
政府広報オンライン（バックナンバーあり）
https://www.gov-online.go.jp/medias/tv/shintobira/news/20220715.html#wt_episode



【自主研修の事項】

ご覧になった感想、意見を100文字程度にまとめて
東灘区保護司会に返信をお願いします。
※返信先「氏名」「住所」を記入してメールください。送付先は政府広報メールでも結構です！
返信期限は令和4年8月10日（水）17時。以降はメールでの返信はできません。





【お知らせ】

○メールマガジン第38号（10月1日）

東灘区保護司会では、区民の皆様へ“社会を明るくする運動”への理解を深めていただくため、区役所に広報活動をお願いしております。

Withコロナ、Afterコロナの今年、保護司会では3年ぶりの「社会を明るくする集い」、今年から「小・中学生作文コンテスト」の表彰式開催・「大学生等メッセージ動画コンテスト」募集にチャレンジしました。その思いを区役所総務部まちづくり課のみなさんが熱意、誠意、創意そして行動力で応えてくださったのです。

5月17日に東灘区ホームページのカテゴリー「地域での活動・場所の情報」で“社会を明るくする運動”東灘区推進委員会のコーナーが新設され、イベントの実施状況が日々更新され、7月3日「集い」7月25日「パネル展示」8月30日「大学生等メッセージ動画コンテスト」そして10月下旬に「作文コンテスト審査結果と表彰式」と予定しています。

東灘区ホームページ「区の紹介～区長お散歩日記～」では、7月15日“社会を明るくする運動”の説明と「集い」の様子、10月下旬には「作文コンテスト」表彰式が掲載予定です。

Facebook 東灘区公式ページ6月16日には“社会を明るくする運動”の説明と4大イベントチラシ、8月18日に「作文コンテスト」の説明とポスターを掲載。

東灘区広報紙コミコミ6月号「大学生等メッセージコンテストの募集」7月号「集い・パネル展のお知らせ」8月号「作文コンテストの募集」12月号「作文コンテスト表彰式」を予定しています。

このように区の広報ツールを総動員し、タイムリーな情報発信に心がけて下さいました事、心より感謝申し上げます。来年も区の広報力にふさわしいイベントを提案していきたいと思っております。

【地域からの頼り】

○大森保護司投稿（中央区保護司会）

9月15日午後から定例研修会です。



【会員の投稿（保護司関連の話）】

○9月23日 四天王寺即売会

経木流しに四天王寺さんへ。今日は荒天で参拝者、骨董市の出店もわずか。その中で矯正展四天王寺即売会が例年通り開催されていましたが、お客は極わずかで気の毒でした。（和田保護司投稿）



○日本更生保護協会主催オンライン講演会「面接に役立つコインマップ」

9月29日10時30分からインターネットで受講。1時間30分のほとんどが3つの事例紹介で、とても丁寧な説明でした。事例はどれも、落ち着いて、論理的に、よく考えられた内容で、対話が途切れずスムーズに展開していました。実際は、こうは行かないであろう。また、これによる面接は何回もできるものではなく、おそらく、対象者との信頼関係が築け、対話が続く頃で、対象者が次のステップに臨むタイミングに行うものと思います。確かに、自分の位置、人との関わりが、可視化、共有化、具体化できる優れた面接ツールのひとつです。（和田保護司投稿）



○9月26日 FACEBOOK（松村保護司）

地元ネタを紹介。甲南商店街にある食品スーパーの「食彩館」が9月末で閉店となります。震災で被災した新甲南市場を再建させたスーパーでしたが、高齢や後継者不足でその歴史を閉じます。単なる食品スーパーでなく、市場をやっていた専門店やプロが集まった特徴のあるお店でしたが、残念です。

後には「食品館アプロ甲南店」が11月下旬にオープン予定。



【事業報告】

○納涼灯ろう展

8月27日御影小学校グラウンドにて灯ろう展開催。夏休みの思い出いっぱいの作品から保護司会賞、更生保護女性会賞を選考しました。三代さん、藤田さん、山本さん、桑山参加。(桑山更女会員投稿)



○魚崎支部会

日時 9月3日(土) 18:30~19:30
 場所 魚崎西町会館
 出席者 清原、石畠、宮田、松村、板井、大谷、石岡、高橋、鳥井、長束保護司
 議題

- ① 連絡事項 「社会を明るくする運動」作文提出
- ② 学校との連携 9月6日(火) 13時25分~
 魚崎中学校 クラブハウス
 講師 高橋聡美先生
 進行 長束(魚崎支部)
 参加者は13:15魚中正門前集合
- ③ 第2回 地域別定例研修
 『保護司の複数担当による処遇について』
 9月8日(木) 13時30分~
 東灘区役所 4階会議室

- ④ 自主研修 『SST面接について』
 10月23日(日) 9:00~12:30
 魚崎西町会館
 講師 北岡裕子先生
- ⑤ 情報交換
- ⑥ のぼり旗撤去 9月4日(日) 9:00~
 (長束保護司投稿)



○第72回“社会を明るくする運動”魚崎支部のぼり撤去

9月4日(日) 9:00~10:30
 魚崎西町会館~魚崎幼稚園~魚崎小学校~魚崎中学校~横屋会館
 参加者 清原、石畠、宮田、長束保護司(長束保護司投稿)



○作文コンテスト応募作品の受取り(魚崎支部)

9月6日火曜日 作文コンテストの応募作品を頂きに行きました。
 魚崎中学校長 大前 稔先生
 魚崎小学校長 坂田 仁先生(長束保護司投稿)



○学校との連携強化事業

日時 9月6日(火) 13:25~15:30
 場所 魚崎中学校 クラブハウス 各教室
 参加者 魚崎中学校 1年生 2年生 3年生
 先生方
 魚崎中学校 PTA会長 本部役員 4名

魚崎小学校 校長先生
 ひがしなだ障害社相談支援センター 3名
 東灘区保護司会 10名和田、山下、松澤、米倉
 永島、藤田、宮田、西口、大谷、長束保護司
 講師 博士 高橋聡美先生
 (一般財団法人高橋聡美研究所、前防衛医科大学
 校教授)

魚崎中学校校長大前先生より、ご挨拶と今回の
 事業の説明をしていただきました後

東灘区保護司会 和田会長の挨拶、
 本日の講師、高橋聡美先生を大前校長先生にご紹
 介していただき講演をしていただきました。

魚崎中学校クラブハウス内に、生徒会執行役員
 の生徒、その他の生徒は各教室においてリモート
 で聞くことになりましたが、ワークを使っての説明
 などでは生徒たちも一生懸命に取り組んでいまし
 た。

また、SOSの出し方や受け止め方、相談したい
 ときに学校の先生はもちろん地域の大人もそうい
 う存在にならなければと感じました。

講演後の保護司等との質疑応答では、我が子に
 対する悩み・接し方や、SOSを出しているかどう
 かの見極めが難しいところ等お話を聞かせていた
 だきました。(長束保護司投稿)

撮影 大前校長先生 大谷保護司)



○第2期地域別定例研修会

日時 9月8日(木) 13:30~15:30
 場所 東灘区役所 4階 会議室



第2期研修テーマ「保護司®んほ複数担当による
 処遇」

講師 渡部主任観察官

まず主任観察官から最近の出来事についての話が

あり、その後、配布資料にもとに研修テーマの解
 説がありました。最後に各専門部会を開催しまし
 た。(和田保護司投稿)

○住吉支部会

日時 9月10日(土) 10~11

場所 佐々木保護司宅

出席者 羽島名誉会員

佐々木、宮地、大野、米倉保護司

議題

・9月6日(火) 学校との連携事業(魚崎中学校
 にて開催) 高橋聡美先生講演内容を支部員にお
 伝え。

・9月8日(木) 第2回地域別定例研修「保護司
 の複数担当による処遇」復習

・10月23日(日) SST 研修(魚崎西町会館)

・11月17日(木) 第3期地域別定例研修(区
 役所)

・社明作文コンテスト応募作品の選考

・令和4年度の社明の活動について、意見交換

・今後の住吉支部活動について、意見交換

(米倉保護司投稿)



○本山支部作文コンテスト選考会および支部会

日時 9月10日(土) 9:00~11:15

場所 東灘区更生保護サポートセンター

出席者 和田、松澤、山下、川西、永井、井上、
 大西、藤田保護司

議題

まず作文コンテストの選考会を実施、4作品を東
 灘区選考会に提出することになった。

引続き支部会を開催

・連絡事項

○ホームページ日より

○第72回“社会を明るくする運動”作文コン
 テストについて

○学校との連携強化事業について 令和5年は
 本山支部担当

○支部会の開催日について

・その他 A保護司対象者の処遇について意見交
 換 (和田保護司投稿)



○第2回保護司代表者会議・県連理事会

日時 9月14日(水) 12:40~15:00
 場所 朝来市文化会館和田山ジュピターホール
 出席者 和田会長
 定例会議後、県大会の会場視察をしました。収容人員800名で今回は半分を使用。開館年月日は1992年4月25日



○東灘区推進委員会作文コンテスト選考会

日時 9月16日(金) 13:30~14:30
 場所 区役所4階 大会議室
 出席者 東灘区区役所まちづくり課
 課長、係長、担当
 東灘区保護司会 和田、石畠、山下、
 大谷、藤田、西藏、米倉保護司
 東灘区更生保護女性会 桑山会長
 書面選考委員 東灘区保護司会永島、松澤保護司
 東灘地区BBS会 田栗会長
 (合計14名)



選考結果

小学校 応募校数9校(昨年比+2)
 作品数1153作品(昨年比+389)
 中学校 応募校数5校(昨年比-1)
 作品数627作品(昨年比-131)
 から、小学校・中学校それぞれ3作品を選考しました。その後、表彰式について話し合いました。なお、小学校2校が初めて応募下さいました。ありがとうございました。一方、常連のある中学校が応募なしで残念でした。(和田保護司投稿)

○兵庫県更生保護女性連盟神戸ブロック研修会

日時 9月20日(火) 13:30~16:30
 場所 神戸市中央区役所1階
 中央区文化センター 多目的室
 出席者 桑山会長、山本、藤田、浅海、米倉会員
 ○3年ぶりに神戸ブロック研修が開催、完成したばかりの真新しく素晴らしい中央区文化センターにて行われました。開会式典の後、
 ・ 観察所次長様より、更女の歴史、あゆみの講話「八重桜について」
 ・ お若いお二人の奏者によります「津軽三味線」「唄」、
 ・ 亀井堂総本店様より「神戸の歴史とお菓子」盛り沢山で有意義なブロック研修でした。
 ○ブロック研修会が生田区更女主催で3年ぶりに開催され、東灘区から5名出席しました。観察所久保次長が更女の歴史を振り返ってくださり楽しんで活動することの大切さを再確認しました。
 その後、津軽三味線と民謡の歌唱で盛り上がり、更に神戸亀井堂社長の瓦煎餅にまつわる興味深いお話をお聞きしました。
 (山本・米倉保護司更生保護女性会員投稿)





全国保護司連盟
Japan Association of Guardianship Officers

TEL. 03-3356-5724
月曜～金曜 9:00～17:00

**東灘区保護司会（兵庫県）が
関西国際大学授業の一つのプログラムを担当しました。**

東灘区保護司会では、東灘地区BBS会活動に協力して、関西国際大学「サービスラーニング」の一つのプログラムを担っています。この授業は地域での貢献活動により、社会との関わり方や、地域・社会の課題発見などを通じて、これからの学びにつなげるというものです。

今回の春学期プログラム「BBS活動を通して学ぶ地域の更生保護（単位数 1）」では「保護司の講話」「保護司へのインタビュー」「ある保護司が運営している子供食堂への参加」に取組みました。履修生16名は、これらの活動で学んだことを“社会を明るくする運動”「パネル展示」で発表し、「大学生等メッセージ動画コンテスト」に応募し入賞作品に選ばれました。

「聴く」「尋ねる」「行動する」そして「発表する」ことで、短時間ではありましたがかなりのレベルの「学び」が出来たのではないかと思います。欲を言えば、引き続きBBS会員として活躍していただければうれしいのですが・・・。

授業担当神垣一規講師から一言

コロナ禍の今、学生が講義室を飛び出して生きた学びを得られる機会は限られています。そうした中、東灘区保護司会及び東灘地区BBS会のご支援を得て、このような実りのある授業を開講できたことにとっても感謝しています。学生の中には、この授業を通してBBS活動に興味を持ち、授業終了後も引き続きボランティア活動に取り組み続ける人もいます。また、今まで保護司の存在自体を知らなかった学生が、自ら保護司について調べるようになったり、初めてのボランティア活動に戸惑いながらも自ら進んで行動しようと努力してみたりと、学生の視野を広げ、主体性を育むことに確実に役立っています。今後もこの授業を継続させていただき、多くの学生に更生保護について知ってもらうことで、自分なりに社会の安心安全を守ることでできる社会人になってもらいたいと願っています。

来月から秋学期が始まります。授業担当教員、BBS会員とともにプログラムを更に充実させ、履修生が更生保護の概念を理解し、参加活動に意欲的に取組み、さらには積極的に意見を述べる「場」が提供できればと考えています。

2022/09/09









全国保護司連盟
All Japan Guardianship Officers Association

TEL. 03-3356-5724
月曜～金曜 9:00～17:00

トップ

活動情報お知らせ

- 理事長挨拶 / 全国保護司連盟紹介
- 定款 / 収支決算

保護司とは

- 保護司活動 / 歴史 / 役割
- 保護司になるために
- 保護司の現状
- 保護司のボランティア
- 保護司会リンク

サポートセンター

- サポートセンター紹介

東灘区保護司会（兵庫県）では 区役所に“社会を明るくする運動”広報活動をお願いしております

東灘区保護司会では、区民の皆様へ“社会を明るくする運動”への理解を深めていただくため、区役所に広報活動をお願いしております。

Withコロナ、Afterコロナの今年、保護司会では3年ぶりの「社会を明るくする集い」、今年から「小・中学生作文コンテスト」の表彰式開催・「大学生等メッセージ動画コンテスト」募集にチャレンジしました。その思いを区役所総務部まちづくり課のみなさんが熱意、誠意、創意そして行動力で広えてくださったのです。

5月17日に東灘区ホームページのカテゴリー「地域での活動・場所の情報」で“社会を明るくする運動”東灘区推進委員会のコーナーが新設され、イベントの実施状況が日々更新され、7月3日「集い」7月25日「パネル展示」8月30日「大学生等メッセージ動画コンテスト」そして10月下旬に「作文コンテスト審査結果と表彰式」と予定しています。

東灘区ホームページ「区の紹介～区長お散歩日記～」では、7月15日“社会を明るくする運動”の説明と「集い」の様子、10月下旬には「作文コンテスト」表彰式が掲載予定。

Facebook東灘区公式ページ6月16日には“社会を明るくする運動”の説明と4大イベントチラシ、8月18日に「作文コンテスト」の説明とポスターを掲載。

東灘区広報紙コミコミ6月号「大学生等メッセージコンテストの募集」7月号「集い・パネル展のお知らせ」8月号「作文コンテストの募集」12月号「作文コンテスト表彰式」を予定しています。

このように区の広報ツールを総動員し、タイムリーな情報発信に心がけて下さいました事、心より感謝申し上げます。来年も区の広報力にふさわしいイベントを提案していきたいと思っております。

東灘区総務部まちづくり課ご担当から一言

“社会を明るくする運動”の担当をしております。三好です。

担当になって、保護司会がこんなにたくさんの活動をされている事にとっても驚きました。若い世代へ向けた動画や作文コンテスト、社会を明るくする集い、パネル展の実施など。活動を知ってもらう機会はたくさんあり、特に広報という形で区役所が一緒に取り組ませていただいています。“社会を明るくする運動”ってなんだろう、保護司会ってどんな事しているのかなと、少しでも市民の皆さんに興味を持ってもらえたら嬉しいです。そしてなにより、保護司会の方々の行動力に、いつも私の方がパワーをいただいております。

これからも、みなさんの活動をタイムリーにお伝えできるよう、一緒に取り組まさせていただきます。

よろしく願いいたします。

2022/09/16

KOBE 東灘区

“社会を明るくする運動”東灘区推進委員会

社会を明るくする運動ってなあに？

“社会を明るくする運動”とは、1971年制定の、犯罪や事件の防止と被害の予防を目的とした社会運動です。警察、消防、青少年センターなど、区役所から市民まで、連携して取り組むことで、地域社会の安全と安心の確保に貢献しています。東灘区では、東灘区民も東灘区役所も、連携して取り組んでいます。令和4年11月開催予定です。



地域団体・地域活動

- 東灘区民センター
- 東灘区民センター
- 東灘区民センター
- 東灘区民センター
- 東灘区民センター

イベントアップ



44



【お知らせ】

○メールマガジン第39号（11月1日）

久々に東灘区保護司会ホームページのアクセス解析結果をお届けします。

投稿数、訪問者数、表示数（PV数）は

	2019	2020	2021	2022.9迄
投稿数（月平均）	27	27	33	24
訪問者数（日平均）	6	14	21	21
表示数（日平均）	30	43	57	54

のとおりです。

リファラー（参照元。訪問者が本サイトへアクセスする時に利用したリンク元）のうち検索エンジンの表示数、全表示数に占める割合（％）は

検索エンジン	表示数（日平均）	割合（％）
検索エンジン	2	3
検索エンジン	5	7
検索エンジン	13	23
検索エンジン	18	34

と年々増加しています。検索エンジンからの訪問者の増加は、既存ユーザーよりも Google などキーワード検索した新規のユーザーが増えている結果です。

ところで、（神戸市）東灘区の公式ホームページに「社会を明るくする運動」ページが5月17日に開設されました。5月～9月のリファラー（kobe.city）表示数は、6月がピーク93PVで、月平均は47PVです。

東灘区保護司会ホームページは、まだ国民の認知度が低い更生保護の分野で、限られた地域の、地味な日常活動を情報発信しています。検索エンジンからの新規ユーザーの割合が増え、区のホームページからの訪問者が新たに加わることはとても素晴らしいことです。

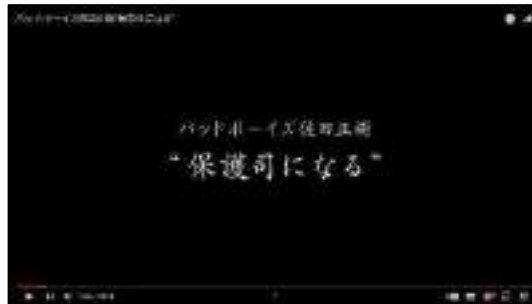
今後ともみなさんに親しまれるホームページを目指し、更生保護の広報活動に頑張っていきたいと思っております。皆様よろしくお願ひします。

○第12回 矯正・保護ネットワーク講演会



【情報収集コーナー】

○10月15日 MOJchannel バッドボーイズ 佐田正樹 “保護司になる”



【地域からの頼り】

○大森保護司投稿（中央区保護司会）

10月12日中央区役所にて社明作文コンテスト表彰式を開催しました。



【会員の投稿（保護司関連の話）】

○9月18・29日 ほんわかキッチン（川西保護司）

9月18日子供食堂開催いたしました。今月はBBS会から2名（1名は甲南大学生）がお手伝い下さいました。75食のご予約のお弁当でした。

9月29日平日の16時開催で初めてのカレーに挑戦いたしました。BBS会から2名（甲南大学生1名）参加頂き、78食のカレーを用意頂きました。



○10月8日ほんわかキッチン（川西保護司）

今回も地域の方々と共に子供食堂を開催させて頂

きました。お弁当作りを終えてからおしゃべりして飲むコーヒは格別美味しいです。75食の予約のお弁当でした。



○10月15日 テレビ大阪ニュース
【別室で何が…】カメラが捉えた！日本最大級の少年院・独占密着180日の記録。



○10月21日 スライド共有 DocsWell を開始
保護司会、更生保護女性会、BBS会のみなさん、それぞれが作成したスライドを共有しましょう。



【事業報告】

○魚崎支部会

日時 10月1日(土) 18:30~20:00
場所 魚崎西町会館
出席者 石島、宮田、西口、松村、大谷、石岡、高橋、長束保護司
議題

- ①連絡事項
 - ・保険について
 - ・令和4年度兵庫県更生保護大会被表彰者
- ②作文コンテスト入賞者
 - ・受賞者各校に案内が届いているか確認
- ③自主研修 SST面接について
 - ・10月23日(日) 9:00~12:30

魚崎西町会館

- ④「保護司の複数担当による処遇について」
- ⑤情報交換 (長束保護司投稿)



○全国保護司連盟来訪懇談会

日時 10月4日(火) 15:15~16:30
場所 東灘区更生保護サポートセンター
出席者 全国保護司連盟事務局長、事務局
兵庫県保護司連合会事務局長
神戸保護観察所首席保護観察官
東灘区保護司会 理事7名

配付資料に基づく会長の「令和4年度のトピックス」の後、全員から関西国際大学との連携活動、SST研修の開催、社会を明るくする運動の活動状況、会計事務の実情、最近感じていること、などを発表。そして、全国保護司連盟の取組み概要のご説明後、出席者全員で意見交換を行った。幹部のみなさんと直接懇談する機会がほとんどない保護司会メンバーにとって、暖かいアドバイス、励ましのお言葉が、明日への飛躍に繋がったと思います。ありがとうございました。(和田保護司投稿)



○近畿更女協議会



10月4日楠公会館にて

第51回近畿更生保護女性会員研究協議会が人数制限された中開催されました
2府4県128名の参加の下活動の一層の充実、発展の趣旨に沿って多くの意見交流が活発に行われました（桑山更女会長投稿）

○本山支部会

日時 10月6日（木）19:00～20:00
場所 東灘区更生保護サポートセンター
出席者 山下、川西、石田（リモート）、永井、井上、藤田保護司

議題

- ・連絡事項
- 第72回“社会を明るくする運動”について
作文コンテストについて
応募結果について
作文コンテスト推薦書
作文コンテスト審査を終えて
- 10月23日SST自主研修会について
- 10月24日作文コンテスト表彰式について
- 10月28日兵庫県更生保護大会について
- ・その他（川西保護司投稿）



○県更女「教養講座」



10月7日（金）、「あすてっぷ 神戸」で上記講座が開催されました。但馬地区でひきこもりの方々に寄り添い、子ども食堂をはじめ、さまざまな活動をされている戸田和代先生のお話をお聞きました。桑山更女会長と山本が出席しました。（山本更女会員投稿）

○住吉支部会

日時 10月8日（土）10:00～11:00時
場所 佐々木保護司宅
参加者 羽島名誉会員、佐々木、米倉保護司

議題

- ・10月23日（日）午前9時～
魚崎西町会館にて「SST研修」
- ・11月17日（木）午後1時半～
区役所会議室にて「第3期地域別定例研修」
- ・令和4年度社明作文コンテストについて
- ・令和4年度兵庫県更生保護大会について
- ・更生保護カレンダーについて
- ・経過報告書の用紙について
- ・その他 意見、情報交換（米倉保護司投稿）



○市保連理事会（令和4年度第2回）

日時 10月11日（火）10:30～12:30
場所 神戸保護観察所1階会議室
出席者 和田会長
令和4年度保護司研修会、令和5年新年互礼会の計画などを審議。昼食時、隣席の統括保護観察官と多岐にわたる意見交換ができました。（和田保護司投稿）



○魚崎中学校文化祭

10月15日（土）
13時半～
ステージの観覧こそできませんでしたが
展示品の観覧
先生方との情報交換など
させてもらいました（長束保護司投稿）

○10月19日 関西国際大学 心理学科ニュース

【心理学部】2022年春学期 サービスラーニング活動報告 ～BBSを通して学ぶ地域の更生保護～
今年度も東灘区のBBS会や保護司会の皆さんと協力してサービスラーニングを実施しました。
BBSとは「Big Brothers and Sisters Movement」の略で、悩みを抱える子どもたちに対して兄弟のような存在として一緒に悩んだり楽し

んだりするボランティア活動です。更生保護とは、罪を犯してしまった人たちの立ち直りを社会で支えようという取り組みです。今年度の春学期は16名の学生が参加して、子ども食堂でのボランティア活動に参加したり、保護司さんへのインタビューなどを行ったりしました。



- ・日常のコミュニケーションにも活かせと思った。
 - ・前田ケイ著「生きる力をつける支援のために」、北岡祐子著「仕事だいじょうぶの本」を読みたい。
 - ・湊川病院（神戸市にある市街地型精神科病院）の職場リハビリテーションプログラムを見学したい。
- などでした。



○10月23日 SST研修
全国保護司連盟ホームページに投稿

東灘区保護司会は、日本更生保護協会・全国保護司連盟主催「令和4年度保護司会におけるSST自主研修に対する助成」による研修を令和4年10月23日（日）に開催しました。講師は医療法人尚生会（創）C.A.C所長 北岡祐子氏、梅花女子大学教授 瀧本優子氏、株式会社ジャパンEAPシステムズ 中村玲子氏、参加者31名でした。

初めに「面接の基本」として対象者が安心して話せる場をつくるためのスキル「受容」「傾聴」「共感」について学びました。続いて「SSTの基本」として「SSTがなぜ保護司と対象者にとって大切なのか?」「SSTの基本的な特色とは何か?」「SSTが面接でどう活かされるのか?」を学びました。

3時間半、講義、演習、振り返りでびっちり学び、演習では「事例についての3～4人グループでの話し合い」「講師のデモンストレーション」「受講代表者のロールプレイ」と観察・体験学習ができました。

終了後、講師を囲んでの懇談会を持ちました。そこでのみなさんの感想は
・今後の面接に活かしたい。



○10月27日東灘区ホームページ

小・中学生作文コンテスト

第72回「社会を明るくする運動」に伴い、日本の児童生活、学習生活の中心で実施したことにちなみ、東灘・神戸市の14地域をあげて「作文コンテスト」を開催し、神戸市立の14中学校・小学校の児童・生徒の作文について審査したことを機に、以下のように表彰式を行いました。

この表彰式の様子は以下のとおりです。

受賞者決定

応募作品は審査の結果、以下の個人が受賞されました。

	得賞者	所属校（所属種別）
最優秀賞	「神戸市立住吉小学校」(神戸市立住吉小学校)	高岡 夏樹 (神戸市立住吉小学校)
	「神戸市立向洋小学校」	長岡 莉香 (神戸市立向洋小学校)
優秀賞	「神戸市立魚崎小学校」(神戸市立魚崎小学校)	大西 優斗 (神戸市立魚崎小学校)
	「神戸市立住吉小学校」	村口 奏太朗 (神戸市立住吉小学校)
佳作	「社会を明るくする人との関係」	上原 大志 (神戸市立住吉小学校)
	「守る意味」	高尾 瑞穂 (神戸市立住吉小学校)

表彰式

東灘区役所で表彰式を行いました。

◎日時：10月27日（月曜） 午後4時～

◎場所：東灘区役所 4階大会場

◎開会のことば：東灘区更生保護女性会長 高尾 瑞穂氏

◎授賞：神戸市立住吉小学校校長 高岡 夏樹氏、神戸市立向洋小学校校長 長岡 莉香氏、神戸市立魚崎小学校校長 大西 優斗氏

当日は東灘区長（東灘区推進委員会委員長）から、受賞者の方に表彰状と記念品の贈呈を行いました。受賞者の方は、保護者の代表者も参加し、区長と共に記念撮影を行いました。



○作文コンテスト表彰式

令和4年10月24日東灘区役所において、第72回“社会を明るくする運動”東灘区推進委員会作文コンテスト表彰式を執り行いました。応募数は小学生の部1153点、中学生の部627点で、これらの中から厳正な審査の結果、以下のとおり入賞作品が選ばれました。

小学生の部

最優秀賞	神戸市立住吉小学校	6年
優秀賞	神戸市立向洋小学校	6年
佳作	神戸市立魚崎小学校	6年

中学生の部

最優秀賞	神戸市立住吉中学校	2年
優秀賞	神戸市立御影中学校	1年
佳作	神戸市立魚崎中学校	2年

表彰式は、東灘区更生保護女性会長の開会のことば、東灘区推進委員会委員長（東灘区長）及び

主唱法務省代表（神戸保護観察所統括保護観察官）の挨拶、東灘区保護司会長の審査結果発表、東灘区推進委員会委員長から各賞贈呈のあと、受賞者代表による作品朗読（2名）があり、東灘地区BBS会会長の閉会のことば、そして会場および区長室で記念撮影をしました。受賞者6名、保護者・先生10名が参加下さいました。

従来は表彰状及び記念品を保護司が学校に届けておりましたが、今年初めて、東灘区長から入賞者に表彰状及び記念品を手渡し、会場・区長室で記念撮影という形で行いました。また、開催にあたっては、神戸保護観察所及び中央区保護司会の皆さまから案内状、式次第、会場レイアウト、賞状ケース、感謝状など事細かく教えていただき、滞りなく終わることができました。


東灘区推進委員会では今後とも御影クラス「社会を明るくする集い」とともにビッグイベントとして継続したいと思っております。



○10月28日 第70回兵庫県更生保護大会

第70回

兵庫県更生保護大会



令和4年10月28日（金）

神戸市文化会館（有明山ジュピターホール）

講演「わかりあえないことから」
芸術文化観光専門職大学学長劇作家平田オリザ氏



○場の設定として、列車で旅行中のA、Bさんのボックス席にCさんが合席する。AさんがGさんに「旅行ですか？」と声かける。そのときのCさんは？

○AさんCさんの振る舞いは人種、民族、文化、年齢などによって異なる。

○この状況を「コンテキスト（文脈）のずれ」という。これに気付かないまま会話を進めるとコミュニケーション不全（顧客からのクレームなど）を起こす。

○子どもが「今日宿題やっけて行かなかったけど、先生に怒られなかったよ！」と嬉しそうに帰ってきた。これは実は「先生が好き」を伝えなかったのです。

○論理的に話すことのできない子どものコンテキストを理解する能力こそが、リーダー（親）に求められている。

○さらに、話しかけやすい場、質問しやすい場といったコミュニケーションデザイン（環境、空間、雰囲気）も考える。

○コミュニケーションはまず他者のコンテキストを理解することが重要である。

○子ども、社会的弱者、保護司の対象者とのコミュニケーションすべてに通じる。



○関西国際大学との連携活動

日時 10月29日（土）10：00～11：30
場所 関西国際大学 2号館

概要

関西国際大学サービスラーニング A

BBS活動を通じて学ぶ地域の更生保護2のキックオフミーティング 「保護司会、更生保護女性会、BBS会についての説明」

神垣授業担当教員の司会で

東灘区保護司会 和田会長、石畠副会長（本日の講師）、松澤副会長、米倉理事

東灘区更生保護女性会 桑山会長（本日の講師）

東灘地区BBS会 田栗会長（本日の講師）

が出席し、履修生15人に活動を紹介しました。

11月19日（土）保護司へのインタビューがあるので、本日の講話から質問事項をまとめ事前提出することとなりました。

表彰種類	氏名
感謝状	永島 敏夫
法務大臣	井上 学
	大谷 愛
委員長表彰	西口 敏子
近保護表彰	南本 幸治
近保護表彰(家族功勞)	石畠 多恵
	永井 精造
	浮田 茂樹
	泉川 謙之助
	石田 陽一
所長表彰(功勞)	長束 幸造
	高瀬 寛
	大野 謙平
	井上 美子
県保護表彰	中瀬 俊明
	板井 裕二
	大西 健太郎
県保護表彰(家族功勞)	山本 雅昭



令和4年度第3回オンライン自主研修 感想・意見

○ 1時間30分のほとんどが3つの事例紹介で、とても丁寧な説明でした。事例はどれも、落ち着いて、論理的に、よく考えられた内容で、対話が途切れずスムーズに展開していました。

実際は、こうは行かないであろう。また、これによる面接は何回もできるものではなく、おそらく、対象者との信頼関係が築け、対話が続く場で、対象者が次のステップに臨むタイミングに行うものと思います。

確かに、自分の位置、人との関わりが、可視化、共有化、具体化できる優れた面接ツールのひとつです。

○ コインマップがその人の気付きになる点は理解できたが、実際に自分が対象者に対して実施出来るかと言えば、今回の研修だけでは不十分だと感じた。

コインマップの意図するところを説明して、それに上手く相手を誘導するには、もう少し勉強が必要。

○ コインマップの手法は、視覚的に、対象者の人間関係や受着、精神的なつながりまでを知る上で、非常に有効だと感じました。

コインを選択し、配置し、さらにそれを移動してみると言う作業を行う過程で、対象者自身の漠然とした感じ方や、曖昧な自らの目標を、幾分明確にすることもでき、保護司にとっても、対応の方向性を決めるのに役立ちます。

コインを使わなくても、考えられる登場人物や物を全て、最初に1枚の用紙に○の大きさを変えて書かせ、その用紙を見ながら、別の用紙に配置してもらうなど、場に合わせた応用もできそうです。

機会があれば、使ってみようと感じました。

○ 保護司として、対象者との面談に困難を感じる場合があります。保護観察が始まって最初の頃の面談は、聞かなければならないことも多く、対象者も真面目に取り組もうとの気持ちから、聞いたことへの返事や近況の報告について積極的に話して頂けますが、面談の回数が増えると、

令和4年度 東京都福祉保健局
第3回オンライン自主研修のご案内
【案内】

オンライン講演会を開催します

9月29日(水) 10時00分～10時15分

無料

【お申し込みの要】

【お申し込みの方法】

【お申し込みの期限】

【お申し込みの連絡先】

マンネリ化が進み、会話・話題が乏しくなってきます。

そのような時期に、対象者の人間関係等について、「コインマップ」の手法を取り入れると、人間関係の状況が浮き彫りになり、保護司の理解が進みます。しかし、それ以上に重要なことは、対象者が自らの状況に気づき、それをもとに、改善方法を探ることができる点にあると思います。

対象者との面談において、必要性や可能性を吟味し、取り入れてみたいと思います。

○「コインマップ」という手段を今回のオンライン研修で初めて学び、詳しく知ることが出来ました。

資料を手元に、3つの丁寧なコインマップの実例を拝聴し、意義、目的、行動過程での有効さを学びました。

講義の最後の質疑でもありましたが、保護司が対象者と向き合い、面接するなかで、実際にお金(現金、コイン)を本当に使ってよいのか、また、対象者が「やらされた感」等々の感情を持つことのないように、実際に面接でコインマップを活用する時は、私のような未熟な保護司は、保護司自身の対応の習得と技術も必要かと感じました。

○コインマップについてのお話でしたが

①対象者が受け入れてくれるかが不安になりました

1分でも2分でも早く帰りたいと考えているところに

(すべての対象者がそうだとは思いませんが)

「めんどくさいなー」と思われるかと心配です

②自分のコインを決めるのに大きさや光具合等

他の人のコインを決める判断基準を説明してないのが

どうかと思いました。

5円を選んだ方は、500円の厚生施設をどの様に感じ選んだのか

50円を選んだ人は100円の施設・病院

そこでお世話になった人を50円でどう感じたのか

(だったと記憶しておりますが違ってたらすいません)

大きさや金額を考えて選ぶのかと思っていたので

意外な展開で驚いています

あと、本人は分かっているけど

こちらから見て、どれが誰だか分からなくなりそうでした

機会があれば実行してみたいと思います

○コインマップの研修ですが、資料を取り寄せ楽しみにしていたのですが、指定の日時に観ることができませんでした。

大変恥ずかしい事なのですが、未研修でお願いいたします。



【お知らせ】

○メールマガジン第40号（12月1日）

先日京都府・秋田県保護司会連合会 YouTube ライブ配信を視聴しました。

令和4年度京都府保護司会連合会特別研修会

<https://kyoto-fuhoren.com/>

第31回東北地方更生保護大会・第55回秋田県更生保護大会

[https://www.youtube.com](https://www.youtube.com/watch?v=n3FP4sJAvNY)

[/watch?v=n3FP4sJAvNY](https://www.youtube.com/watch?v=n3FP4sJAvNY)

これらは会場参加とYouTube配信のハイブリッド開催で、兵庫県に居る保護司はホームページ記載のURLから事前申込もなく自由に参加できました。画像は鮮明で、スクリーンショット「略称スクショ」（パソコンやスマホの画面を画像ファイルとして保存できる機能）でメモとして幾つかのスライドを残しました。なお、京都府保護司会連合会特別研修会は神戸保護観察所からの保護司専用ホームページ・東灘区保護司会宛「メッセージボード」そして東北地方更生保護大会は秋田県保護司会連合会 Facebook から知りました。

このようにライブ配信は、全国津々浦々の更生保護サポートセンターあるいは自宅で、しかも都合の良い日時に自主研修できるものです。

是非とも、都道府県保護司会連合会が主催する更生保護大会の講演や研修会をライブ配信し、全国保護司連盟ホームページ「保護司会連合会からのお知らせ」（新設）に投稿下さることを願っております。

○11月29日 異動の挨拶とお礼 住吉支部 泉川謹之助保護司

この度神戸から高知県室戸市へ引越しすることになり東灘保護司会を一旦やめることになりました。東灘住吉支部では4年間お世話になり大変感謝しています。初めて保護司の委嘱を受けスタートした頃は不安でいっぱいでした。でもまわりの先輩方の暖かい支えにより不安は吹き飛びました。大きく不安を抱えることなくこれまでこられたのも周りの支えのおかげだと思っています。

これからは高知県に籍を移して活動を続けるつもりです。また神戸に帰ってくるようになるかもしれません。その時はまたよろしくお願い致します。これからもご健康に気をつけられ、ますますご活躍されることを祈念いたします。ありがとうございました。

【情報収集コーナー】

【地域からの頼り】

○11月4日 大森保護司投稿（中央区保護司会）

昨日は区役所で定例研修会でした。久しぶりに司会をしました。



【会員の投稿（保護司関連の話）】

○11月8日 京都府保護司会連合会特別研修 14時からYouTubeLiveで参加しました。

「生き直す」テーマで。「高知さんの過去を価値に変えて欲しい。私達と一緒に話しをして下さい」というスポンサー田中紀子さんとともに高知さんは

- ・自分の生い立ちを隠さず語る
- ・自分の考え方のクセを明らかにする
- ・そして、過去を振り返る。母親のルーツを探ることで謎が解けた

そこまでやって「自分を変えることができ、本当

の生き方に気づいた」と語る。
この自叙伝を、高知さんと田中さんの掛け合いできめ細かく語られた。
依存症支援はここまで大変なことであるとは思っていなかった。
とても意義ある講演会でした。京都府保護司会連合会の皆様、ありがとうございました。(和田保護司投稿)



○11月11日 第31回東北地方更生大会・第55回秋田県更生保護大会
第31回東北地方更生大会・第55回秋田県更生保護大会の講演
水の再生と循環の物語

～下水再生水を活用した米づくり～

講師 秋田工業高専 准教授・博士(工学) 増田 周平氏

をYouTube ライブ配信で参加しました。
化学肥料を使わずに、窒素リンを含有する下水再生水を活用して酒米栽培し日本酒を醸造する、高専学生の取組を紹介。更生保護大会式典はどれも全国一律のようだが、講演は「所変われば品変わる」で興味深いテーマでした。しかも「水平展開」という懐かしいことばも聞きました。是非とも、ライブ配信の水平展開をお願いしたい。(和田保護司投稿)



○11月12日 ほんわかキッチン(川西保護司)



本日子供食堂無事に開催できました。BBS会から3名内甲南大学生2名が参加下さり、79食のご予約頂きました。

○12月13日 前田忠弘先生講演会のご案内



【会員の投稿(東灘に関するなんでも話)】

○11月5日 神戸新聞「誇れる地元に愛着を持って」藤田保護司投稿



○11月23日 FACEBOOK(道谷保護司)

昨日の「なんでやねん!?!」、いかがでしたか? ご覧いただいた多くの方から、メッセージをいただき、ありがとうございました。

昨日の疑問は、「神戸の公園に石がゴロゴロほったらかしなの、なんでやねん!?!」で、神戸市東灘区の住吉川周辺の公園の中にあるほったらかされた石の謎を解明しました。番組でも解説しましたが、「ほったらかされた石」の正体は、1938年(昭和13)7月3日から5日にかけて、住吉川を中心六甲南麓の阪神間を襲った阪神大水害の爪痕でした。この水害は、当時住吉川沿いに居(倚松庵)を構えていた文豪・谷崎潤一郎も経験しており、彼の代表作『細雪』にもその様子が描写されています。

番組で、JR 住吉駅をスタートした古川アナと塚田さんが最初に向かった公園「住吉本町公園」ですが、ここはもともと住友財閥のオーナー・住友家の本宅があったところです。1925年（大正14）に住友家15代目の当主・住友吉左衛門友純が本邸を構えました。また、次に向かった大きな石や挽き臼のあった「住吉川東緑地」は、1908年（明治41）に建てられた日立グループの創設者・久原房之助の邸宅があった場所です。このように住吉川上流周辺には、当時の日本を代表する大企業のオーナー社長が、数多く本宅を構えていたところでした。しかし、番組でも、少し解説しましたが、こうした邸宅の多くは、阪神大水害で流れてきた土砂で大きな被害を受け、水害後、オーナー達はこの地から去って行ってしまい、邸宅跡の多くは放置状態のままです。このため、上流から流れてきた石がそのまま残されてしまい、のちにそれを公園にするときそのまま利用したので、映像で映っていたような感じになったのです。

謎解きの答えは、芦屋川でしたが、私が電話で「川の左右をよく見てください」と言ったヒント（本当は、川の左右の護岸の違いに気付けば正解にたどり着いたのですが・・・）、実は、二人がたどり着いた橋の下にあった多くの石の群れを想定したのではありませんでした。私が二人に間違えてもらいたかったものは、川の東にある「徳川大坂城の芦屋川扇状地採石場」という史跡看板でした。ここにたどりついて、住吉川周辺に落ちていた石は、残念石だという誤答を導こうと策略を練っていたのですが、残念ながらかすりもせず、想定外の答えになってしまいました（なお、現在のところ、住吉川上流に、徳川大坂城の採石場があったことは確認されていないので、住吉川周辺に残念石がころがっていること自体おかしいのですが・・・）。

このように、準備段階では、担当ディレクターと、綿密な打合せをして、二人がどのような答えを導き出すか、いくつかの想定問答集を用意するのですが、今回も全く役に立たず、これまでと同様、その場で臨機応変に解説するということになってしまいました。正直、橋の下の構造物を答えにすることは思ってなかったのですが、現地では少々焦りましたが・・・ちなみに、二人には、ロケに行く直前、タイトルと行く場所だけは知らせますが、内容については、全く教えておらず、毎回、自力で二人が答えを考えています。



Tver での見逃し配信、今日の午後1時以降から（1週間）視聴できるようです。朝日放送「news おかえり」のホームページにリンクが貼ってあります。こちらから、ご覧ください。

<https://www.asahi.co.jp/news-okaeri/>

【事業報告】
○第4回オンライン自主研修のご案内



○第5回オンライン自主研修のご案内



○うおっ子スポーツデー
 11月5日（土）8時45分～12時15分
 魚崎小学校 うおっ子スポーツデー
 行ってきました
 晴天の中、子どもたちの元気な姿を見て
 こちらも元気をもらってきました。

コロナの終わりが見えない中
先生方も工夫をされての競技・演技だったと思います
しいて言えば6年生の「よさこい」は
掛け声があってもよかったかなーって思いました
(長東保護司投稿)



○本山支部会

日時 11月5日(土) 10:00~11:20
場所 東灘区更生保護サポートセンター
出席者 和田、山下、川西、石田、藤田、井上、
大西、中瀬保護司
議題

- ・連絡事項
 - ホームページだより(11月号)
 - 作文コンテストについて
 - 第70回兵庫県更生保護大会について
 - 10月23日SST自主研修会について
 - 令和5年新年互礼会について
 - その他

今回も対象者の処遇について意見交換が行われた。(和田保護司投稿)



○本庄支部会

日時 11月5日(土) 18:00~18:40
場所:深江会館
出席者:大谷、梶井、小野、永島、谷口、安田、
藤山、椎野保護司(以上8名)
議題・連絡事項

- ・新任、退任保護司について
- ・来年の新年ご礼会開催について
- ・社会を明るくする運動 作文について
- ・定例研修について
- ・表彰について
- ・研修内容の提案事項について
- ・その他 (椎野保護司投稿)



○魚崎支部会

日時 11月5日(土) 18:30~20:00
場所 魚崎西町会館
出席者 石畠、宮田、西口、清原、石岡、板井、
大谷、長東保護司



議題

- ①連絡事項
 - ・更生保護こうべ
 - ・ホームページだより
- ②新年互例会について
 - ・日時 令和5年1月18日(水)
 - 午後5時30分~ 新年研修会
 - 午後6時00分~ 新年互例会
 - (新年情報交換会)
 - 場所 ホテルプラザ神戸 11階光の間
 - 参加確認 令和4年12月20日(火)
 - 最終確認 令和5年1月5日(木)
- ③作文コンテスト・エッセイコンテストの受賞者について

- ・東灘区優秀作品 向洋小学校 6年生
- ・東灘区佳作 魚崎小学校 6年生
- ・東灘区佳作 魚崎中学校 2年生

④第70回兵庫県更生保護大会

- ・西口 敦子 : 近畿地方更生保護委員会 委員長表彰
- 長束 幸造 : 神戸保護観察所長功労表彰
- 板井 裕二 : 兵庫保護司会連合会 会長表彰

⑤第3回 地域別定例研修

- ・11月17日(木)13:30~ 東灘区役所
「犯罪被害者の心情等を踏まえた処遇
」~しよく罪指導の在り方~

⑥情報交換 (長束保護司投稿)

○11月9日 更生保護就労支援シンポジウム
山下、高橋保護司が参加しました。(山下保護司投稿)



日時 11月15日(火)13:10~16:10分
場所 ZOOM
参加者 和田会長
全体では14~18名

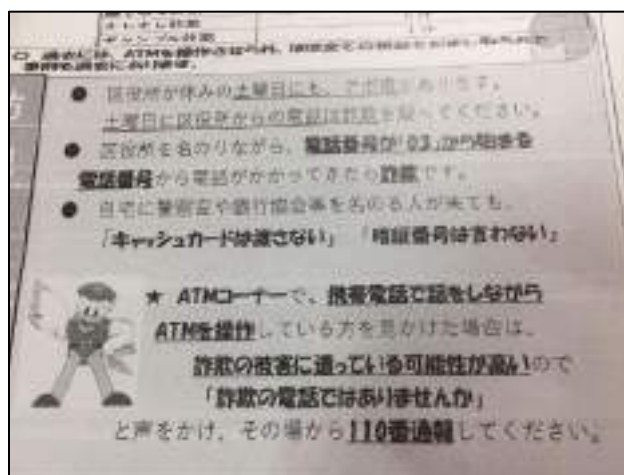
今回は、集合・対面式(ホテルグランヴィア京都)で行われるが、コロナ禍の残存状況を鑑みて例年の3分の2の規模に縮小。また、協議会等の開催形式の多様化を見据えて、ZOOMによりライブ配信がされました。いろいろと理由があると思いますが、参加者MAX18名には驚き!!

○第3期地域別定例研修会

日時11月17日(木)13:30~15:30
場所 東灘区役所 4階 会議室

① 特別研修

東灘警察署生活安全課課長から
東灘区内で特殊詐欺被害が多発
とのことで、特殊詐欺被害発生状況および防犯ポイントについて説明を受けました。



○11月9日 YouTube から学ぶ 「保護司」



② 第3期研修テーマ

「犯罪被害者の心情等を踏まえた処遇
~しよく罪指導の在り方~」
講師 渡部主任観察官

パワーポイントを用いて解説がありました。最後に各専門部会を開催しました。(和田保護司投稿)

○令和4年度近畿地方保護司代表者協議会



○関西国際大学との連携活動

サービ斯拉ーニング「保護司へのインタビュー」
 日時 11月19日(土) 13:30~14:40
 場所 関西国際大学山手キャンパス2号館

出席者 インタビュー学生15名
 保護司 6名

2班に分かれてインタビューを受けました。
 保護司になったきっかけ、保護司をすることによる価値観の変化、やりがい、印象に残ったエピソード、今後の抱負・・・矢継ぎ早の質問、とても濃い内容で、私たちも「振り返り」として有意義な一時でした。(和田保護司投稿)



○令和4年度 三者連携強化研修



日時 11月25日(金) 13:30~16:00
 場所 神戸保護観察所 1階会議室
 出席 東灘区 藤田、米倉、BBS会員、
 他の地区の方、13名

研修内容

- 参加者の自己紹介・活動報告に続き、
- ①ケース検討+発表、
- ②三者連携の現状と課題について
 グループ討議+発表、

③今後の連携について、グループ討議

保護司・更生保護女性会・BBS会の皆さまとたくさん意見交換ができました。他地区の方々との情報交換もできました。

学習支援、ともだち活動、こども食堂、サービ斯拉ーニング、他、BBS会の若い方と直にお話し出来て、とても学びの多い有意義な研修でした。
 (米倉保護司投稿)

○東灘区広報紙コミコミ2022年12月号 “社会を明るくする運動” 作文コンテスト (東灘区) 受賞者決定

第72回“社会を明るくする運動”作文コンテスト(東灘区)受賞者決定

日常の暮らしや、学校生活の中で体験したことや、近頃・昔の思い出や、気づきや学び・反省した人の名言などについて考え、感じたことを題材に、1700字以内の小中学生を対象に公募の中から以下の6人が受賞されました。

受賞者	受賞作品(題目)	BBS会(所属)
園遊賞	「近頃や昔の思い出や安全で明るい町へ」	結月 優希 (神戸市立西宮小学校5年生)
	「静かな町、静かみん」	赤松 花音 (神戸市立西宮中学校1年生)
優秀賞	「国内社会における、安全を実現してよかった人の今後の人生」	久保 優子 (神戸市立西宮小学校6年生)
	「社会を明るくする運動」	石川 未希南 (神戸市立緑蔭中学校1年生)
佳作	「社会を明るくする人との理想」	小津 みのり (神戸市立東灘小学校6年生)
	「守る責任」	安丸 年希 (神戸市立東灘中学校2年生)

主催 “社会を明るくする運動”東灘区推進委員会事務局
 (東灘区保護司会) ☎772-5091 〒177-0707
 ① 神戸国際大学 72shomei@gmail.com
 “社会を明るくする運動”東灘区推進委員会 詳細はこちら

○11月27日 本山支部 区内一斉清掃(中之町公園)

快晴で気持ちが良いです。少年野球チームの子ども達も参加し、盛況なお掃除でした。山下・石田保護司が参加。(石田保護司投稿)



○11月7日「区長お散歩日記」で「作文コンテストの表彰式」が紹介されました

区長八十八歩目(11月7日)

第72回“社会を明るくする運動”作文コンテストの表彰式が、初めて開催されました。“社会を明るくする運動”については、これまでも犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動として（65歩目）でもとりあげましたが、歴史だけでなく、コロナ禍においては、さらに意義のある活動と感じます。

この運動を少しでも広く、特に若い世代に知ってもらい、考えてもらえればということで、作文コンテストが開催されてきました。今年は初めて、表彰式を区役所で開催いたしました。学校関係者やご家族にも、改めてこの活動を深めてもらえればという想いで実施しました。応募作品は、区内の小学生の部1153作品、中学生627作品もあり、その中からそれぞれ3作品が最優秀賞他に選ばれました。



犯罪防止のために夢や幸せということを一人ひとりが見つめ直そうという内容や、更生者の社会の受け入れに着目したものなど、考えさせられる内容となっていました。

今年の、テーマも「#生きづらさを生きていく。」（参照：法務省 https://www.moj.go.jp/hogo1/kouseihogoshinkou/hogo03_00103.html）です。

社会を明るくするためには、唯一の方法があるわけではないと思います。様々な立場で役割と責任を果たしていくことだと思います。



全国保護司連盟
Japan Guardians Federation

TEL 03-3356-5724
月曜～金曜 9:00～17:00

トップ

全国保護司連盟

- ▶ 理事長挨拶 / 全国保護司連盟紹介
- ▶ 定款 / 収支決算

保護司とは

- ▶ 保護司活動 / 歴史 / 組織
- ▶ 保護司になるために
- ▶ 保護司の現況
- ▶ 保護司のパンフレット
- ▶ 保護司会リンク

サポートセンター

- ▶ サポートセンター紹介

東灘区保護司会（兵庫県）が 関西国際大学の秋学期プログラムを担当しました。

東灘区保護司会では、関西国際大学「サービスラーニング」の秋学期プログラム「BBS活動を通して学ぶ地域の更生保護2（単位数1）」を春学期に続いて担当しました。

この授業は地域での貢献活動により、社会との関わり方や、地域・社会の課題発見などを通じて、これからの学びにつなげるというものです。

10月29日キックオフミーティングで履修生15名に「保護司会、更生保護女性会、BBS会の活動」を紹介しました。

11月19日「保護司へのインタビュー」で、保護司6名が2班に分かれてインタビューを受けました。保護司になったきっかけ、保護司をすることによる価値観の変化、やりがい、印象に残ったエピソード、今後の抱負・・・矢継ぎ早の質問、とても濃い内容で、私たちも「振り返り」として有意義な一時でした。

このプログラムでは、これらのほか「子ども食堂」「東灘地区青少年協議会主催のイベント」でのボランティア活動などに取り組み、来年には活動発表が行われる予定です。

「聴く」「尋ねる」「行動する」そして「発表する」ことで、短時間ではありますが、かなりのレベルの「学び」が出来るのではないかと期待しております。

2022/11/22






【お知らせ】

○メールマガジン第41号（1月1日）

あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルス感染症対策で新年互礼会、研修旅行を中止し、総会を書面表決としました。しかし、第72回“社会を明るくする運動”は「2年続く世間の萎縮ムードを、今年は明るくする」心構えで東灘区保護司会一丸となってチャレンジしました。

- ・「集い」は規模を縮小して3年ぶりの開催
- ・「パネル展示」は関西国際大学のみなさんも参加
- ・「作文コンテスト」は初めてのポスター制作と表彰式
- ・「大学生等メッセージ動画コンテスト」の第1回開催
- ・「区役所ホームページ」で社明運動コーナーを開設
- ・「コミコミ」に6月7月8月連載そして12月も

そして、

- ・地域別定例研修に加えて「SST研修」
- ・中学校との連携強化事業
- ・関西国際大学「サービスマーケティング」春・秋学期プログラム「BBS活動を通して学ぶ地域の更生保護」の担当

などをしました。

さて、今年は出来るだけコロナ前に戻すとともに、昨年と同様、挑戦的・創造的活動に取り組みたいと思っています。

最後に、毎年同じことを言っていますが、映画・テレビ・本・講演会および、お店の紹介、個別イベント参加の報告、趣味・特技の披露などでもかまいませんので、是非とも皆様の投稿をお願いしたいと思います。

【会員の投稿（保護司関連の話）】

○12月5日 ツイート 矯正図書 恐ろしい…親の「よかれと思って」が少年犯罪につながる理由【犯罪心理学者が解説】



○12月9日 法務大臣臨時記者会見の概要

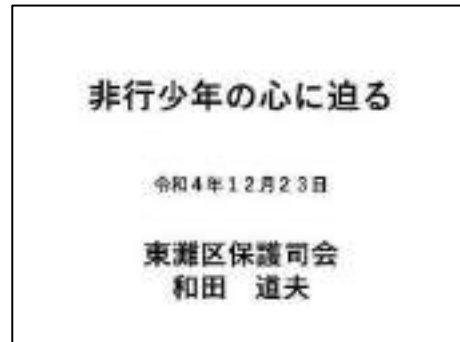
名古屋刑務所職員による暴行・不適正処遇事案に関する質疑について

○令和4年10月法務総合研究所 研究部報告 63 犯罪者・非行少年の生活意識と価値観に関する研究

○12月13日 令和4年版犯罪白書

○12月13日 令和4年版再犯防止推進白書

○「非行少年の心に迫る」



【区市等会議】

○保護司研修

日時 12月8日（木）14:00～16:00

場所 神戸法務総合庁舎5階 大会議室

出席者 和田会長

令和2年5月から令和3年10月に新任委嘱された神戸市内の保護司58名のうち約40名が出席。

研修1は神戸保護観察所長の講話

研修2は先輩保護司（地区保護司会長等）が答える対話方式の質疑応答に参加。

事前に割り振られた質問への回答準備、当日の質疑応答を拝聴し、はるか昔の新任時代を思い出すとともに、観察所長の講話も含めて基本に戻る良い機会でした。



○第3回保護司代表者会議・県連理事会

日時 12月19日（月）10:30～14:15

場所 湊川神社楠公会館 青雲の間

出席者 和田会長

午前保護司代表者会議後で、午後理事会。いつもの通り、隣席の灘区の会長さんと情報交換を行った。（和田保護司投稿）



○作文・エッセイコンテスト表彰式

日時 12月26日(月) 13:30~14:50
 場所 湊川神社 楠公会館2階 菊水の間
 出席 審査員として和田会長
 挨拶、贈呈者・審査員・保護司会長等紹介、各賞の贈呈、受賞者代表による作品朗読発表、記念撮影。素晴らしい作品、堂々とした朗読、ありがとうございました。特に、全文暗唱された受賞者には感服しました。



【研修活動】

○第6回オンライン自主研修のご案内

令和4年度 東灘区保護司会
 第6回オンライン自主研修のご案内

【趣旨】

保護司等中央研修会
 令和4年度研修

東灘区保護司会からの研修に際して、学芸員兼保護士から「犯罪被害者の声に寄り添う文芸—生野区青少年相談所が舞台の中心」と題して講演がありました。神戸大学法学部から動画制作の案内がありました。

令和4年12月(日)「令和4年度第6回オンライン自主研修のご案内」メールで視聴方法をお知らせしています。ご確認ください。

【自主研修の開催】
 2022年12月26日(月) 13:30~14:50
 会場 楠公会館2階 菊水の間

【研修内容】
 1. 犯罪被害者の声に寄り添う文芸—生野区青少年相談所が舞台の中心
 2. 犯罪被害者の声に寄り添う文芸—生野区青少年相談所が舞台の中心
 3. 犯罪被害者の声に寄り添う文芸—生野区青少年相談所が舞台の中心

○薬物依存症セミナー&家族相談会(in大阪)

令和4年度薬物依存症セミナー&家族相談会

1月15日(日)
 13:30~16:00

Let's Get Started

薬物依存症セミナー
 13:30~14:00
 講師 田中 浩一
 大阪府立中央病院 精神科 部長

家族相談会(予約制)
 14:00~16:00
 講師 田中 浩一
 大阪府立中央病院 精神科 部長

申込方法
 070-3777-4580(予約)

【協力組織活動】

○12月3日ほんわかキッチン(川西保護司)
 無事に子供食堂開催できました。本日は79食ご利用頂いております。不登校支援もしておりますので、今日は不登校のお子様の手伝いに来られました。地域のおばさんなど、見守られて一生懸命に頑張ってくれました。



○東灘区更生保護女性会 理事会・更女会

日時 12月4日(日)
 10時~12時(理事会)
 12時~14時(愛の持ち寄り物品の仕分け)

場所 サポートセンター横、大会議室
 出席者 桑山更女会長、羽島、森、清原、浅海、川崎、松澤、千葉、藤田、米倉会員
 議題
 ・東灘区更女今年度の活動報告、今後の予定確認
 ・第70回兵庫県更生保護大会(朝来市) 近畿更女連盟会長表彰 川崎さん

神戸保護観察所長感謝状 藤田さん

- ・関西国際大学でのサービスラーニングについて
- ・三者連携強化研修について
- ・新たな取り組みについて、協議
- ・更女だより5号発行に向けて、検討

理事会の後、愛の持ち寄り運動に、皆さまから寄せられました沢山の物品(←県下、三ヶ所の更生保護施設へ寄贈いたします)の仕分け作業を行いました。(桑山更女会長、米倉会員投稿)



○歳末愛の物資贈呈式

12月9日観察所において昨年に引き続き縮小されて行われました

昭和36年にお米の持ち寄りや綿を持ち寄ってお布団を仕立てる事から始まったそうです
今年度も多くの方がたのご協力で姫路薬師寮 保正会 兵庫学而園にお届けする事が出来ました
厚くお礼申し上げます



なお 8日には各地区から届いた衣類 日用品 お米等観察所の会議室にて3か所への仕分け作業を神戸ブロックの会員同士が協力して楽しかったと笑顔で終える事ができました
東灘区ではたくさんの方々のお陰で330点の品物が集まりました 心よりお礼を申し上げます
(桑山更生保護女性会長)

○甲南大学法学会主催講演会

日時 12月13日(火) 15:00~16:30
会場 甲友会館

刑事司法と福祉 大学生活50年をふりかえって
講師 甲南大学名誉教授 前田忠弘先生
最終講義を兼ねての講演会。「1 現場から学ぶ」「2 学びを鳥瞰する」で、前者では4項目、そのうちの 하나가「東灘更生支援プロジェクト(社会を明るくする運動等地域と学生が連携した活動)を揚げてくださり、しかも「先進的な活動」と説明されました。前田先生、大変お世話になりました。今後、社会福祉士として「福祉からみた司法」「司法領域における社会福祉士の存在意義と役割の向上」に取り組まれるとお伺いしました。是非とも、前田先生の司法・福祉ネットワークに参画したいと思います。(和田保護司投稿)



○茨城県BBS会&保護司会情報交換会

日時 12月14日(水) 20:00~21:50
場所 ZOOMミーティング

呼びかけ人 茨城県BBS連盟 会長
参加者 BBS会 水戸地区BBS会員 2名
筑波大学広域BBS会 4名
保護司 尼崎市保護司会 会長
東灘区保護司会 会長

第4回目の情報交換会。まず、自己紹介をした後、それぞれの保護司会、BBS会の活動紹介。その後情報交換に。特に、新任保護司候補者の確保施策、BBS会の「時代とともに変わるもの、時代が変わっても変えないもの」など活発な意見が出て、あっという間の2時間半でした。地域差、世代差、立場の違いを超えた、素敵なミーティングでした。尼崎市保護司会会長がご参加されているにはお互いにびっくり。更に、水戸地区BBS会長が阪神淡路大震災で本山南町の方と懇意になられ、今でも数年に1回は来神されているのにも。次回は令和5年2月8日(水) 20時から (和田保護司投稿)



○12月15日 ほんわかキッチン「更生保護女性会からプレゼント」

12月クリスマスシーズンということで更生保護女性会から子供食堂ほんわかキッチンにお菓子の詰め合わせ50セットを提供頂きました。18日の開催で子供達に喜んで頂きます。皆様ありがとうございました。(川西保護司投稿)



○12月18日ほんわかキッチン（川西保護司）

今日は更生保護女性会の会長さんを始め3名ご視察頂きました。ありがとうございました。本日は89食のご利用でした。BBS会から3名（内、甲南大学生2名）お手伝い頂きました



【支部活動】

○本山支部会

日時 12月1日（木）19：00～20：20

場所 東灘区更生保護サポートセンター

出席者 和田、山下、松澤、永井、藤田、中瀬保護司

議題

・連絡事項

○作文コンテストの総括

○第70回兵庫県更生保護大会の表彰者

○SST研修会のまとめ

○新任保護司の予備調査

○令和5年新年互礼会について

今回も、就労支援、作文コンテスト支部活動、保護観察終了後の対応、対象者の処遇などについて意見交換が行われた。(和田保護司投稿)



【その他】

○サポートセンター大掃除

日時 12月25日（日）10：00～11：30

場所 東灘区更生保護サポートセンター

3階大会議室

出席者 山下、大谷、松澤、藤田、米倉保護司

桑山更女会長

日頃、東灘区の更生保護活動の拠点として使わせて頂いておりますサポートセンターを、皆さんで隅々まで丁寧にきれいに大掃除いたしました。

すっきり爽やか、気持ち良く新年を迎えることができそうです！（米倉保護司投稿）



令和4年度第5回オンライン自主研修 感想・意見



① 俳優高知東生氏の講演を聞きました。幼少期から青年期に至るまでの壮絶な体験・家庭環境の中でよく今の高知さんが存在しているなあ、

というのが正直な感想です。覚醒剤を体験する瞬間の心の動きや仕事や結婚生活から逃げるために覚醒剤を使う流れも良くわかりました。

刑務所から出所後の言葉「薬をやめることはできても、これからの人生をどう生きるかが難しい」という言葉は切実だと思います。

人生を生きなおすのに、自助グループの力が大きかったと言われていましたが、やはり、覚醒剤からの脱却は本人だけの力では難しく、支援団体の援助がひつようだと認識しました。

最後に、「認知のゆがみ」という言葉が印象的でした。

② 高知さんの紆余曲折を経てどん底から立ち直られた話を聞き、いかに周囲の方々とのつながりが大切かを痛感した。

我々保護司の仕事についても、さらにその自負と誇りをもってその任を全うしていきたいと感じた。

③ 色々な言葉が語られていましたが、「過去を価値に変える」という田中紀子さんの言葉が大変印象に残りました。

高知氏もおっしゃっていたように、一度の失敗で人生が終わるような教育、生活は、味気のないものです。多くの人が失敗をして、恥をかいたからこそ今があるといえるでしょう。その時、助けとなる人、場所が備えられていることが大切です。

一人ですべてを担うことは難しいでしょうが、専門家や諸団体と協力することが大切であることを改めて学びました。協力するためには、互いに歩み寄ること、情報を共有することが肝要となってくると思います。情報は、待つだけでなく、受け取りに行くことも大切ですので、このようにオンラインで研修できるのは、大変有意義でした。

④ 今回の講演では薬物依存からどう脱却するか、再犯をどう防ぐかと言う視点では無く「新たな生活をどう構築するか」に重点が置かれていて興味深く聞かせてもらいました。

薬物依存を支援する「ダルク」と言う施設が各県に置かれていて薬物から立ち直った経験者が「寄り添う」と言う話は聞いたことがあるのですが自分はまだ携わったことが無いので良く判りません。

今回の講演者は再犯に関しては心配無いが「これからどう生きていこうか」と言う葛藤から話が進んで

いたように思いました、田中さんとの出会いから「自分は一人ではないんだ」と言う事に気付き田中さんの提案を受け入れて「母親のルーツ」を探りに四国へ行ったという話は感動的でした。

以外なところから道が開くことが出来る、保護司として多種多様なカウンセラーとの接触や受講もこれから必要なのかなと思いました。

PS.ホールでの講演はスピーカーを通じて放映されるので音が割れて聞き取りにくかったです

⑤ 「生き直す」テーマで、「高知さんの過去を価値に変えて欲しい。私達と一緒に話しをして下さい」というスポンサー田中紀子さんとともに高知さんは

- ・自分の生い立ちを隠さず語る
- ・自分の考え方のクセを明らかにする
- ・そして、過去を振り返る。母親のルーツを探ることで謎が解けた

そこまでやって「自分を変えることができ、本当の生き方に気づいた」と語る。

この自叙伝を、高知さんと田中さんの掛け合いできめ細かく語られた。依存症支援はここまで大変なことであるとは思っていなかった。とても意義ある講演会でした。



【お知らせ】

○メールマガジン第42号（2月1日）

令和4年ホームページ投稿の表示数ランキングは次のとおりでした。（○印は“社会を明るくする運動”関連、●印はそれ以外）

- 5月29日ほんわかキッチン（川西保護司） 163
- 5月5日小・中学生作文コンテスト募集のポスター 124
- 4月1日社会を明るくする集い 123
- 8月30日大学生等メッセージ動画コンテスト入賞作品の決定 103
- 4月1日”社会を明るくする運動”東灘区推進委員会 99
- 4月1日大学生等メッセージ動画コンテストの募集 97
- 4月13日第72回”社会を明るくする運動”東灘区推進委員会 81
- 9月16日東灘区推進委員会作文コンテスト選考会 75
- 10月9日東灘区制70周年記念だんじり巡行 72
- 11月15日令和4年度第5回オンライン自主研修のご案内 70
- 4月1日パネル展 67
- 5月24日退任の挨拶（松本保護司） 52
- 11月11日第31回東北地方更生大会 47
- 7月3日社会を明るくする集い 47
- 3月19日令和4年度第1回オンライン自主研修のご案内 46
- 7月27日令和4年度第3回オンライン自主研修のご案内 45
- 10月24日作文コンテスト表彰式 45
- 3月1日メールマガジン第31号挨拶 45
- 10月29日関西国際大学との連携活動 44
- 6月13日法務省：第72回”社会を明るくする運動”について 42

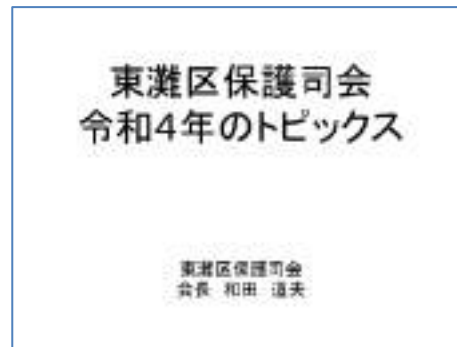
上位20のうち11が”社会を明るくする運動”関連でした。しかし、特筆すべきは

- ・保護司の地域活動である「子ども食堂「ほんわかキッチン」」がダントツの一位
- ・「だんじり巡行」「退任の挨拶」も上位

であったことです。

そこで、東灘区保護司会ホームページでは保護司会活動の情報だけでなく、みなさんの地域活動、本・テレビ・映画などの紹介、趣味・特技の披露など、型にはまらない自由な投稿を是非ともお願い致します。

○1月1日 令和4年トピックス



【会員の投稿（保護司関連の話）】

○1月20日法務省 令和4年版犯罪白書（HTML版）が公表されました！



○1月23日「第二次再犯防止推進計画（案）」に係る意見募集について



【会員の投稿（東灘に関するなんでも話）】

○1月22日 東灘区の美味しいお店を紹介し
ます！（石田保護司）
タイ料理クワンチャイ
@岡本 1-4-3 坂井ビル B1



岡本駅と摂津本山駅の間
山幹道路沿いにあります。
美味しくて健康に良い
タイ料理がリーズナブル
に食べられます！
タイのドリンクも沢山
揃っていましたよ。
一度お試しあれー(^_^)

【会議報告】

○新年互礼会

日時 令和5年1月18日（水）
17時30分から新年研修会
18時から20時懇親会

場所 ホテルプラザ神戸 11階「光の間」
まず、神戸保護観察所次長から「法改正による更生保護の変化」「令和5年保護司関係の政府予算案」の説明があり、18時から会長挨拶、来賓挨拶、来賓紹介、乾杯、そして叙勲受賞者、更生保護女性会員、新任保護司の挨拶、あつという間に、山下副会長の「大阪手締め」でお開き。3年振りの新年互礼会、楽しく過ごしました。（和田保護司投稿）

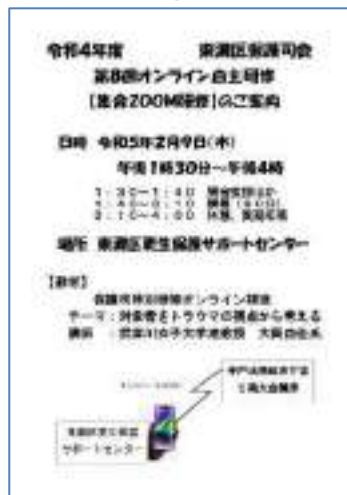


【研修活動】

○第7回オンライン自主研修のご案内



○第8回オンライン自主研修（サポセン集合ZOOM研修）のご案内



【協力組織活動】

○東灘区社会福祉協議会 報告会

日時 1月31日（火）14：00～15：20
場所 東灘区文化センター 8階 会議室1・2
出席者 和田会長

「市・区社協組織体制あり方検討会」報告会であり、市社協の専務理事、事務局の方がこられ、資料にもとづく説明とそれに関する質疑応答が行われた。とても興味深い「やり取り」であった。



令和4年度第6回オンライン自主研修 感想・意見

**令和4年度 東灘区保護司会
第6回オンライン自主研修のご案内**

【教材】



高田保護局長からの挨拶に続いて、伊東弁護士から「犯罪被害者の思いに寄り添う支援～犯罪被害者支援専門士の視点から」と題して講演がありました。神戸保護観察所から犯罪被害の案内がありました。

令和4年12月7日(水)「令和4年度第6回オンライン自主研修のご案内」メールで視聴方法をお知らせしています。ご確認ください。

【自主研修の要領】
こちらにダウンロードし、お名前を入力して印刷してください。
東灘区保護司会研修会宛
「研修要領」「手帳」「問紙内容」を記入してメールください。(印刷用による発行メールでも対応です)
※印刷用は令和4年11月18日(月)まで、印刷用やメールの受付は終了しております。

- ① 伊東弁護士の話の冒頭で、「各支援者が各々が携わる場面だけを押さえているだけでは、真に被害者に寄り添った総合的な支援にはならない」との言葉はとても印象的だった。
私たちはつい、対象者更生の1点のみに注目し過ぎているかもしれない、と反省させられた。
- ② 保護司活動において、講演中の「保護司活動において犯罪被害者等のことを念頭に置いてほしい。犯罪被害者等への支援と更生保護は矛盾するものではなく、むしろ、被害者等への支援があってこそ犯罪者の更生が成り立つもの」という視点を認識できたことは良かったと思います。

先の保護観察の対象者で、犯罪被害者からだまし取った 500 万円を返済していこうという事案がありました。保護観察中に、自分の更生のためにも、500 万円を返済するように勧めましたが、本人は「先ずは自分の生活の安定。返済は生活が落ち着いてから」との意向でした。それは致し方ないことですが、保護観察が終わり、誰も返済に関して言わなくなり、自分の生活スタイルができあがると、ついつい、返済を後回しにし、そのうち返済する気持ちをなくしてしまうのではないかと危惧しました。被害者への返済には、そのような問題があるように思います。

- ③ 「支援の連続性」この視点は私にはありませんでした。よく考えてみれば、至極当然のことです。加害者がおれば、当然、被害者がおり、被害者は加害者のその後に興味があるのは当たり前でしょう。そして、被害者の方が「加害者にどうなって欲しいと思っているのか…」その心情まで汲み取ることは考えていませんでした。どうしても「思いこみ」というものもあり、「こういう人だから仕方ない」「被害を持っているから仕方がない」そんな甘えもあったように思います。しかし、もし、自分やその家族が被害を受けていたらどうでしょうか。弁償はもちろんのこと、その生活態度も気にしている事でしょう。確かに、素人でそこまですることは難しいことです。ただ、関わるからには、出来なくても、その視点を持つ必要があると感じました。そのためには、情報を持っているだけでなく、受け取りに行くことも大切であり、関係者の円滑な連携も必要でしょう。どこまでいっても、人間のことは、人がつながり、共有する事が肝要なのだと教えられました。

- ④ 約 1 時間におよぶ密度の濃い講演会。ここで学んだことは

- ・被害者等の思いは個別的なもの（事件ごとに異なり、同じ事件でも人ごとに違う）
変動的なもの（時間の経過によって変化するもの）
- ・被害直後における支援、刑事裁判での支援、民事分野での支援、そして更生保護段階での支援と連続的に積み重ねられる。
- ・更生保護段階は刑事司法的な分野の終盤である
- ・被害者等の実情や思いに馳せることなくしては加害者の真の更生はない

等であったが、一度ではなかなか理解できない内容である。更なる研修会等で学ぶ必要がある。



【お知らせ】

○メールマガジン第43号（3月1日）

東灘区保護司会では、令和3年4月に法務省 YOUTUBE「再犯防止ってなに？トラウデン直美と知る一立ち直りの最前線」を第1回としてオンライン自主研修（自宅等で視聴し、感想・意見を提出）を開催しています。令和3年度は8回、令和4年度も8回目を迎えました。

今回は、観望所会議室で開催される保護司特別研修（受講者は各保護司会1名）を、自宅やサポートセンターでもオンライン（ZOOM）で視聴できるように準備されました。

ところが、ZOOMの経験がない、自宅ではいろいろと用事があり数時間スマホに向かっておれない、などの意見が出ました。

そこで、従来の感想・意見を提出する自宅研修に加えて、サポセン集合ZOOM研修を初めて試みました。モニターとしてサポセン備付TVでは画面が小さすぎることから、思い切ってプロジェクターを購入し、多くの保護司が大画面で視聴できるように準備しました。

結果、平日の昼間ということもあって3名の保護司が視聴し、ZOOM終了後意見交換を行うことができました。なお、自宅視聴は4名でした。

参加者が少ないですが、ニーズがある限り、自宅研修に加えて、サポートセンターでの集合研修も並行して行いたいと思います。

【地域からの便り】

○2月16日大森保護司投稿（中央区）



○2月14日 全国保護司連盟HPに投稿



【会員の投稿（東灘に関するなんでも話）】
○2月26日 撰津岡本梅まつり



【区市等会議】
○市保連新年互礼会

日時 2月3日（金）午後6時から8時
 場所 エスタシオン・デ・神戸
 参加者 和田会長、
 石畠・松澤・山下・大谷副会長
 コロナ対策もあって、テーブル5名で15テーブル総勢70名余り、ゆったりとした座席。内容はコロナ前に戻り、会長席で中央区、灘区、兵庫区、垂水区の各会長さんとじっくりと情報交換ができました。（和田保護司投稿）



○兵庫県保護司代表者等連絡協議会

日時 3月21日（火）～22日（水）
 場所 姫路ゆめさき川温泉 夢乃井
 出席者 和田会長、松澤副会長
 県連会長、観察所長の挨拶のあと
 講演 “息の長い” 支援について 観察所長
 意見発表
 尼崎市における重層的支援について
 尼崎市保護司会 会長
 行政との連携の実施と在り方について
 加古川保護区保護司会 会長

そして質疑応答、2時間半の密度濃い研修会でした。その後懇親懇談会に入り、灘区・中央区・兵庫区の会長・副会長と多岐にわたる意見・情報交換が出来ました。コロナ禍で3年振りの開催となり、対面会話の重要性・必要性を痛感した一日でした。



【広報活動】

○令和5年1月31日 法務大臣閣議後記者会見の概要～第73回社会を明るくする運動～

○第73回“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～中央推進委員会会議が開催されました。
 令和5年1月30日（月）、第73回“社会を明るくする運動”中央推進委員会会議が、法務省大会議室において開催されました。今回は、会場への参集による参加のほか、YouTubeの法務省チャンネルにて限定配信を行い、オンライン参加も可能としました。

開催に当たって、中央推進委員会委員長である法務大臣の代理として門山法務副大臣が挨拶されました。



【研修活動】

○保護司特別研修のオンライン視聴

日時 2月9日(木) 13:30~16:00
 場所 サポートセンターまたは自宅等
 参加者 サポセン: 和田、山下、松澤保護司
 自宅等 : 4名

今回、初めての試みで、神戸保護観察所会議室で開催された保護司特別研修(各保護司会1名)をオンライン(ZOOM)で視聴しました。保護司にはZOOMのバードルが高いと思われたので、新たにプロジェクターを購入してサポセンにて集団で視聴できる環境を整えました。平日の昼間ということで結局視聴した保護司は7名で、サポセンは3名に止まりました。

今後、YouTubeで視聴できるのであれば、土曜日午後に再度サポセンで自主研修を行うことも考えたい。(和田保護司投稿)



○保護司特別研修のオンライン視聴 (補講)

令和4年度 東灘区保護司会
 第8回オンライン自主研修 **補講!**
 [集合ZOOM研修]のご案内

日時 令和5年3月4日(土)
 午後1時~午後3時
 場所 東灘区更生保護サポートセンター大会議室

【教材】
 保護司特別研修オンライン視聴
 テーマ: 対象者をトラウマの視点から考える
 講師: 筑波川女子大学准教授 大田由佳氏

なお、自宅などで「保護司専用ホームページ」
 「研さん資料」「保護司制度・研修」「研修」
 ご覧になった場合は、皆さまの感想・意見を100字程度にまとめ
 東灘区保護司会各部会宛
 「氏名」「所属」「研修月日」を記入してメールください。
 (支部長による代行メールでも結構です)
 送付期限は令和5年3月4日(土)です。(期満後等と100
 字程度の感想・意見は必須です)

○第4期地域別定例研修会

日時 2月16日(木) 13:30~15:30
 場所 東灘区役所 3階 会議室
 第4期研修テーマ「面接の基本について」
 講師 山田主任観察官

まず主任官から自己紹介があり、その後、配布資料にもとに研修テーマの解説がありました。保護司の相互事例に加えて、主任官の体験談、上司の事例紹介などもあり、とても有意義な研修でした。最後に各専門部会を開催しました。(和田保護司投稿)



○シンポジウム「罪を犯した人の立ち直りを地域で支えるために」

高橋 朝人
 @AsatoTakanata

Jeppiaが休職給金活用事業として、日本更生保護協会が2019年度から3年計画で行う「安全・安心な地域社会づくり支援事業」を達成。全国再生行禁止ネットワーク協議会も活用。3月23日のシンポジウムは後7学はせていただく。会場、オンライン参加ができるので一歩でも多くの方と共に学べると幸いです。

地域で支えるために
 一歩でも多くの方と共に

3.23

シンポジウム
 3月23日(土) 13:30~15:30
 会場: 東灘区役所 3階 会議室
 オンライン参加も可能

講師: 山田主任観察官
 講師: 大田由佳氏
 講師: 高橋朝人氏

【協力組織活動】

○茨城県BBS会&保護司会情報交換会

日時 2月8日(水) 20時~21時30分
場所 ZOOMミーティング



呼びかけ人 茨城県BBS連盟 会長
参加者 BBS会常磐大学 1名
筑波大学 4名
札幌学院大学 1名
茨城大学 1名
保護司 水戸地区保護司会 1名
東灘区保護司会 和田

今年度最後の情報交換会。まず、各会の活動紹介後、2班に分かれて「BBS会と保護司会がこれから一緒にできること」をテーマに話し合いました。令和4年度の情報交換を踏まえて、令和5年度の「継続と挑戦」の活動を期待しています。(和田保護司投稿)

○茨城県BBS会&保護司会情報交換会(対面ミーティング)

日時 2月27日(月) 14:10~16:20
場所 西宮ガーデンズ「ハーブス」

出席者 茨城県BBS会 3名
神戸市西区BBS会 1名
東灘区保護司会 和田・米倉保護司

2月21・22日、神戸において第9回学生BBS会員全国研修会が開催され、その機会にオンラインで交流した茨城県BBS会員のみなさんと対面ミーティングを行いました。まず、東灘区の土地柄を説明し、東灘区保護司会、更生保護女性会の活動を紹介します。一方、茨城県BBS会の現況、そして昨日の研修会の模様など、更にYOUTUBEのライブ配信テクニックにまで話題が広がりました。



(米倉保護司) 昨年11月末に青少協住吉支部の住吉小学校での活動で一緒にしましたBBS会の方がいらして嬉しく思いました。

(和田保護司) 帰路で、甲南大学更生支援プロジェクトリーダーの前田教授に久々にお会いできました。BBS会の縁って、不思議な・素晴らしいものです。

○ほんわかキッチン(川西保護司)

今月も子供食堂開催致しました。2月11日(土) 82食、19日(日) 95食のご利用でした。



【支部活動】

○本庄支部会

日時 2月25日(土) 18:00~18:30
場所 深江会館

出席者 大谷、梶井、小野、安田、藤川、南本、甲斐、浮田、藤山、椎野保護司(以上10名)

議題・連絡事項

- ・新任保護司募集について
- ・東灘区保護司会総会開催について
- ・本庄支部総会について
- ・サンシャインワープ準備について
- ・薬物担当について
- ・その他 (椎野保護司投稿)



令和4年度第7回オンライン自主研修 感想・意見

令和4年度 東灘区保護司会 第7回オンライン自主研修のご案内

【教材】
第7回同区保護司会保護大会（区庁市文化会館）P4 10. 75
講演「わかりあえないことから」
講師 芸術文化観光専門職大学学長・劇作家 早田ナリイ様



URLは
令和5年1月18日(水) 8:00東灘区保護司会広聴部
「第7回オンライン自主研修のご案内」メールをご確認ください。

【自主研修の要領】
ご参加いただいた際、お席を100名程度にとり、
東灘区保護司会の輪読会内
「高橋文村」「はる」(輪読会)を挿入してメールください。(ご都合による欠席メールでも結構です)
※お席は令和5年1月18日(水) 7:00迄とさせていただきます(お見込みです)

① コミュニケーション力の話のなかで、その国の文化によって望ましいコミュニケーションは異なることの一例として、外国でエレベーターに乗り合わせた時のお互いの反応の違いの話がありました。米国では、お互いに「ハーイ」と言って笑顔を見せますが、イギリスの上流階級では、人に紹介される以外は自分から話しかけないそうです。私が、米国を訪れた時も同じ体験をしました。知人に理由を聞くと、「あなたにとって私は敵ではないことをいち早く示すため」と教えてくれました。

この講演を聴いて、保護司として「社会的弱者の気持ちをくみ取る能力」、「相手の文脈をくみ取る能力」を高め、「話しやすい」、「質問を受けやすい」環境を作って面談を行うことが重要だと感じました。

② 「コミュニケーションのうまさ」ではなく、「豊かさ」について学ぶことができた。AIなどのプログラムや機械では、対応できない「人と人」のコミュニケーションの難しさについて、改めて教えられた。

「社会的弱者は、コンテキストでしか話さない。」ということを繰り返し語っておられた。社会的弱者の方々とのコミュニケーションは、確かにわかりにくく、伝わりにくい。それゆえに、誤解されたり、コミュニケーションすることを諦められている事が多いように感じる。そのような、誰にも理解し受け入れられなかったり、虐げられたことへの寂しさや悔しさが、犯罪への入り口となった人もいるかもしれないと感じた。

提唱されていた「社会的弱者のコンテキストを汲み取る能力を向上する」というのは、とても良いことだと感じています。また、同時にレベルの高いことを要求されているようにも感じた。後半でおっしゃっていた「コミュニケーションデザイン（話しかけやすい環境づくり）」というのは、そこまで注力しておりませんでしたので、意識してみたいと思います。

今回も、多くの新しい発見と気づきがたくさんありました。研修の機会を与えてくださり嬉しく思います。

③ コミュニケーションはこれだけ奥深くて広いものかということを感じた。

「コミュニケーションをデザインする」という件はとても印象的で、我々も、「どうすればもっと対象者が話しやすくなるか？」ということをもっと多角的に考えていく必要がある。

④ コミュニケーションについて多くを学びました。

○場の設定として、列車で旅行中のA、Bさんのボックス席にCさんが合席する。AさんがGさんに「旅行ですか？」と声かける。そのときのCさんは？

AさんCさんの振る舞いは人種、民族、文化、年齢などによって異なる。この状況を「コンテキスト（文脈）のずれ」という。これに気付かないまま会話を進めるとコミュニケーション不全（顧客からのクレームなど）を起こす。

○子どもが「今日宿題やって行かなかったけど、先生に怒られなかったよ！」と嬉しそうに走って帰ってきた。これは実は「先生が好き」を伝えたかったのです。論理的に話すことのできない子どものコンテキストを理解する能力こそが、リーダー（親）に求められている。

○さらに、話しかけやすい場、質問しやすい場といったコミュニケーションデザイン（環境、空間、雰囲気）も考えなければならない。

○コミュニケーションはまず他者のコンテキストを理解することが重要である。このことは保護司の対象者とのコミュニケーションすべてに通じるものである。

令和4年度 東灘区保護司会
第8回オンライン自主研修
【集合ZOOM研修】のご案内

日時 令和5年2月9日(木)

午後1時30分～午後4時

1:30～1:40 開会挨拶ほか
1:40～3:10 講義(80分)
3:10～4:00 休憩、質疑応答

場所 東灘区更生保護サポートセンター

【教材】

保護司特別研修オンライン視聴

テーマ：対象者をトラウマの視点から考える

講師：武庫川女子大学准教授 大岡由佳氏



① サポートセンターでの視聴後の意見交換

- ・「トラウマ」について詳しい解説であった。
- ・テキストがなく、音声聞き取りにくいZOOM視聴環境ではちょっと専門的内容が長すぎた。
- ・最後に「保護司の処遇活動」へのまとめが良かった。

② 「トラウマという言葉の持つ意味がよく理解できた。

さらに、トラウマと犯罪に深い因果関係があるというデータには驚きだった。

対象者と接する時、その行動や発言に対して、常に、背景として何かあるのかもしれない、と考える視点が必要だと感じた。」

③ 保護司では、初めてWEBにて研修会に参加させて頂きましたが、和田会長ご指摘の通り、講師の方の音声が聞き取りにくかった印象です。

内容としては、まず「トラウマ」という言葉が日本語でなかったことにまず驚きました。また、トラウマや依存症の対象者を持ったことがない私にとって、ご説明頂いた内容が、以前観た映画「前科者」で薬物依存症の女性の描写そのままでしたので、誇張ではないとあらためて実感致しました。

④ 感性的によく耳にする言葉でしたが、科学的に研究され証明されていることを知り、大変勉強になりました。

また聞きれない用語もあり、少々難し(感じ)こともありましたが、資料が画面に表示されていたのでとても助かりました。

現在担当している対象者の中にも、明らかにトラウマに苦しんでいると思われる方もおられます。完全に排除することは難しいと思いますが、今日学んだことを活かし、セルノケアの一部を担えたら良いなと感じています。

また、支援者側のケアについても触れられているのは、とても良いことだと思います。支部会などの保護司仲間とケアし合うこと、そして、ある部分においては、専門家の方々との連携などが検討され、スムーズに、手軽に行われるようになれば良いなと感じています。一支援者としての力はわずかですが、真摯に取り組んで参りたいと思います。

⑤ 阪神・淡路大震災を経験している我々にとって、「トラウマ」や「PTSD」は、比較的、身近なものとして捉えることができると思います。子供時代の逆境体験(トラウマ)が多いほど、様々な病気や薬物乱用のリスクが高まることを知りました。また、自分自身についてもトラウマ体験がありますが、小児期の逆境体験や配偶者からのDV被害が多く、また、6割の方がトラウマ体験があることがわかり、そのような知識を持って対人関係に配慮することが必要だと思いました。保護司として対象者に接するときは、これらのことを想定し、また、講演の最後で紹介のあった質問の仕方も参考にしながら、面談を行いたいと思います。



【お知らせ】

○メールマガジン第44号（4月1日）

令和3・4年度は新型コロナ禍のなか「コロナだから止める」ではなく「コロナだからできる」「コロナ後も続ける」の思いでYouTube（動画配信）に取り組みました。一つはメッセージ動画、もう一つはオンライン研修です。

例年、阪神御影駅前の御影クラッセ「だんじり広場」で「社会を明るくする集い」イベントを開催していましたが、昨年に引き続き令和3年第71回も中止せざるを得なくなりました。しかし、新しい試みとして、東灘区長、神戸保護観察所長からの「挨拶動画」、かつての出演者、大学生、保護司、BBS会員等の「メッセージ動画」をホームページで配信しました。そして、令和4年第72回は規模を縮小して屋外イベントが出来ましたので、「メッセージ動画」は「コンテスト」に衣替えしました。

次に、観察所の地域別定例研修がコロナの影響で中止になっていたことから、「保護司の育成」として「オンライン自主研修」を開始しました。教材は法務省などのライブ配信とYouTubeとし、令和3年4月の第1回は、法務省YOUTUBE「再犯防止ってなに？トラウデン直美と知る一立ち直りの最前線」を1か月間の視聴期間で、受講レポート（1000字以上）メールをお願いしました。令和3・4年度それぞれ8回行いました。そして、令和5年には、新型コロナ感染が落ち着いてきたので、プロジェクターを購入してサポートセンターでのオンライン集合研修も併せて行いました。

このようなICTの取り組みは、令和5年度も継続するとともに「やっていないこと」を「やりはじめる」チャレンジの思いを持ち続けていきたいと思えます。

【会員の投稿（保護司関連の話）】

○令和5年3月17日 「第二次再犯防止推進計画」を閣議決定しました



○第1回オンライン自主研修のご案内

**令和5年度 東灘区保護司会
第1回オンライン自主研修のご案内**

【教材】いつでもYOUTUBEで視聴できます

再犯防止に
法務省 MO Jchannel
<https://youtu.be/M36kayrXrKd4>

【自主研修の要領】
ご覧になった後、受講生100名程度を対象として、東灘区保護司会協議会にて「再犯防止」をテーマに、参加者10名程度を指名し、10分程度で発表していただきます。発表は令和5年4月30日（日）です。（講師出席と100名程度の視聴・受講は必須です）

【会員の投稿（東灘に関するなんでも話）】

○3月11日 FACEBOOK（中瀬保護司）

中瀬俊明

今日は、天気も良く。近場の梅を觀賞しました。保久良山の梅林は満開、岡本の梅林公園は、少し過ぎていましたが、甘い梅の香りが漂っていました。

【県市等会議】

○第4回保護司代表者会議・県連理事会

日時 3月15日(水) 10:30~14:00

場所 湊川神社楠公会館 青雲の間

出席者 和田会長

今回のトピックスは次の通りです。

- ・4月1日付人事異動と組織体制
- ・小中学生作文コンテストのポスターが法務省で検討中。ただし、配布は印刷物ではなくファイルとのこと
- ・保護司SST普及事業 希望保護司会は4月10日までに資料提出(和田保護司投稿)



○市保連理事会

月日 3月27日(月) 10:30~12:30

場所 神戸保護観察所1階会議室

出席者 和田会長

残念ながら4月1日付で転任される隣席の統括保護観察官および灘区会長と話し合いました。(和田保護司投稿)



【社会を明るくする運動】

○第73回“社会を明るくする運動第1回区役所との打合せ

月日 3月16日(木) 14:00~15:00

場所 東灘区役所4階会議室

出席者 東灘区役所まちづくり課係長、担当東灘区保護司会 和田、松澤、山下、米倉保護司議事

○基本方針、全体スケジュールについて決定

○「社会を明るくする集い」の日程は7月2日を第1案とし区長、御影クラッセ、消防音楽隊がOKであれば、関係機関に予告連絡をする

○次回は4月下旬とし「集い」の出演メンバー、「社明チラシ・作文コンテストチラシ」デザインなどについてすり合せ (和田保護司投稿)



○(予告) 大学生等メッセージ動画コンテスト

一犯罪や事件を防止し、立ち寄りを変える地域のチカラ
第73回 “社会を明るくする運動”東灘区推進委員会

大学生等メッセージ動画 コンテスト!!

神戸市東灘区在住・在学の大学生ならびに
東灘区保護司会員、東灘区更生保護女性会員、東灘地区
BBS会員本人および親しい大学生を対象!
なお、短大・専門学校・大学院生を含みます。

募集期間 2023年8月1日~8月31日

Step1 応募規約に同意!
Step2 撮影した動画をYouTubeに投稿!
「公開」「既定公開」の設定でアップロード
Step3 応募メールを送信!
higashinadaku.shamei@gmail.com
動画URL、所属、氏名、
メールアドレスほか記入
Step4 投稿完了!



【研修活動】

○補講：令和4年度第8回オンライン自主研修 (サポセン集合ZOOM研修)

日時 3月4日(土) 13:00~14:40

場所 東灘区更生保護サポートセンター

出席者 和田、小野、山下、大谷、米倉保護司
2月9日保護司特別研修のオンライン(ZOOM)視聴者が7名であったことから、本日、補講を開催した。残念ながら出席者が5名であったが、視聴後、わずかな時間であったが、意見交換を行った。なお、和田・山下保護司は2度目の視聴であったが、今回は配付資料があり、聞き取り難さにも慣れ、理解が深まった。(和田保護司投稿)



【協力組織活動】

○3月2日 ツイッター（筑波大学広域BBS会）



○3月11日ほんわかキッチン（川西保護司）
3月11日今回は子供食堂夕方の開催でした。
108食のご予約頂きました。BBS会より甲南大学生が1名お手伝い下さいました。



○3月4日 ツイッター（茨城県水戸地区BBS会）



○東灘区更生保護女性会 理事会・更女会

日時 3月12日(日)午前10時～12時
場所 更生保護サポートセンター横大会議室
出席者 桑山会長、

松澤、藤田、川崎、森、羽島、山田、清原、
宮田、小林、井上、千葉、石岡、米倉
(更女会員14名出席)



議題

- ・1月～3月の行事報告と今後の予定について
- ・令和5年度更女総会日程について
日時 5月14日(日)午前10時～
場所 御影公会堂
- ・協議事案等の検討
- ・「東灘区更生保護女性会だより」第5号の発行に向けて
- ・その他

皆様方と沢山の情報・意見交換が出来、あっという間の2時間でした。更生保護、地域の事、

個々に皆様が色々取り組んでいる事、日々感じる事、等々、盛りだくさんの有意義な話し合いが出来ました。(米倉更女会員投稿)

○関西国際大学との四者連携活動

日時 3月18日(土) 10:00~11:20

場所 関西国際大学神戸山手キャンパス

出席者 関西国際大学 教授、講師

東灘区保護司会 和田、藤田、米倉保護司

東灘区更生保護女性会 桑山会員

東灘地区BBS会 会長、会員

概要

令和4年秋学期 サービスラーニングA(BBSを通して学ぶ地域の更生保護)の活動報告があり、引続き令和5年春学期のプログラムについて意見交換した。決定事項(保護司会関連)は次の通り。

春学期は保護司会の活動紹介:社会を明るくする集いの体験学習(於 御影クラッセだんじり広場) 雨天の場合は座学

秋学期は保護司の活動紹介:保護司体験談をもとにセミナー(於:更生保護サポートセンター)

なお、春学期の全体スケジュールは

5月上旬 受講生決定

中旬 学内オリエンテーション

6月中旬 キックオフミーティング(保護司・更生保護女性会・BBS会の紹介など)

子ども食堂体験

7月9日 社会を明るくする集い

7月下旬から8月初旬

住吉小学校青少協主催イベント体験

7月下旬から8月上旬

研究成果パネル発表

8月末 研究成果動画発表

(和田保護司投稿)



【支部活動】

○本山支部会

日時 3月4日(木) 11:00~11:40

場所 東灘区更生保護サポートセンター

出席者 和田、山下、永井、藤田、井上、中瀬
保護司

議題

・連絡事項

○ホームページだより 2・3月号

○令和5年度総会について

・その他 対象者の環境調整、最近の中学生非行について意見交換が行われた。(和田保護司投稿)



○魚崎支部会

日時 3月4日(土) 18:30~20:00

場所 魚崎西町会館

出席者 石畠、宮田、清原、石岡、高橋、
松村、板井、鳥井、大谷、長束保護司

議題

①連絡事項

・更生保護こうべ 他

②ホームページからの報告者制作について

③令和4年度東灘区保護司会総会について

・令和5年4月26日 水曜日

プラザホテル神戸

④情報交換

・連絡網について

⑤報告

・環境調整・対象者 (長束保護司投稿)



